

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団

目 次

令和3年度 秋田県社会福祉事業団事業報告書

	ページ
I. 概 況	1
II. 施設別の概要	
秋田県北部老人福祉総合エリア	9
秋田県中央地区老人福祉総合エリア	11
秋田県南部老人福祉総合エリア	13
高清水園	19
秋田県心身障害者コロニー	21
由利本荘地域生活支援センター	24
阿桜園	26
湯沢雄勝広域市町村圏組合 やまばと園	28
障害者支援センター御所野	30
秋田県点字図書館	32
秋田県聴覚障害者支援センター	34
III. 公益的な取組	
法人事務局	36
高清水園	37
秋田県心身障害者コロニー	38
由利本荘地域生活支援センター	41
阿桜園	42
湯沢雄勝広域市町村圏組合 やまばと園	43
障害者支援センター御所野	44
秋田県点字図書館	45
【資料】	
1. 組織	46
2. 施設の概要	47
3. 施設のサービス利用状況	48
4. 役員等	50
5. 会議等	51
6. 職員	54
7. 研修の実施状況	56
8. 苦情解決処理状況	71
9. 虐待防止(対策)委員会の開催状況	73
10. ハイクオリティサービス推進システム	75
11. 地域密着型サービス外部評価事業	75

I . 概 況

概 況

当事業団の運営に当たっては、「5カ年経営計画」（令和3年度～令和7年度）に基づき、利用者ニーズを踏まえたサービスの提供に努めた。

また、「5カ年経営計画」の最初の年度として、新たな課題に取り組むとともに、事業運営上の目標管理も行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により柔軟な対応が求められた。

1 信頼され選ばれる施設づくり

(1) 質の高い福祉サービスの提供

① 利用者の高齢化・重度化への対応

身体機能や認知機能の低下がみられる利用者に対応するため、個々の特性に合わせて、医療機関等からの指導助言や各種福祉用具の活用、重度化・高齢化の利用者支援に比重を置いた研修の実施により、日常生活面における支援の充実に努め、利用者の状況に合わせた居住環境の再編の検討を行った。

やまばと園においては、ICTの具体的な導入についてのスケジュールを協議しつつ、タブレット等のデバイスの新たな活用方法や個人情報保護に関するガイドラインの作成・整備について検討した。また、特殊浴槽の設置に向けて具体的な機種選定や浴槽の配置位置等について施設内でも協議検討し、湯沢雄勝広域市町村圏組合との協議を踏まえ、令和4年度中に設置することとなった。

② 強度行動障がいに対応した支援体制の強化

強度行動障がいを有する利用者に対する特性に配慮した留意点を整理した支援計画シート等を各施設で整備し、統一した支援に努めた。

高清水園においては、アセスメント票を見直し、新様式で再アセスメントを実施したほか、支援アドバイザーからの助言をもとに対象利用者の応用行動分析等の実証検証を行い、モデル支援方法の確立を図った。

また、心身障害者コロニーにおいては、強度行動障がいに対応した研修の受入れを進めていたが、組織体制の見直しや利用者の増加に伴い、令和3年度に予定していた法人内職員と令和4年度に予定していた県内施設職員の研修受入れについては、当面の間中止とした。

③ 支援アドバイザーの活用

新型コロナウイルスの影響もあり、各施設の状況に応じて対面とオンラインを用いて概ね月4回程度実施した。外部からの専門的な視点によるアドバイスを得ることや、障がい特性の理解に関する研修を実施することにより、専門知識や支援スキルの向上を図った。

④ ハイクオリティサービス推進システムの運用

当法人において独自で取り組んでいるハイクオリティサービス推進システムについて、より適切かつ効率的な運用となるよう、令和4年度から抜本的な内容の見直しを図ることとした。

⑤ 福祉サービス第三者評価の受審

外部からの視点による新たな気づきを得ながら、質の高いサービス提供につながる福祉サービス第三者評価の定期的な受審について検討を進めた。令和4年度は、監査や評価及び分析といった法人内のプロセスを整理する年度とし、令和5年度から受審を行う方向とした。

⑥ 正職員支援員の配置増

支援体制の充実に向けて、支援セクションにおける正職員割合の向上のため、積極的な採用に取り組み、令和3年度に実施した採用試験により、福祉職は、採用者9名、定年退職者4名、早期退職者3名となり、福祉職の職員数としては2名増となった。

(2) 利用者の安心・安全の向上

① 虐待防止など権利擁護の徹底

身体拘束等の適正化に係る指針の作成及びマニュアルを改正し、虐待防止の取組を強化していたが、身体拘束に関する手続き及び記録の徹底についての認識不足が顕在化し、2施設で3ヶ月間ずつ身体拘束廃止未実施減算が適用される結果となった。

利用者への身体拘束廃止宣言、虐待防止チェックリストによる定期的な点検、全支援職員に対しての人権擁護・倫理行動規範・虐待防止・動作制限等の研修を徹底的に行うことで、虐待防止に対する職員の意識は高まってきている。しかし、業務過多による職員のストレス軽減、身体拘束に関する手続き及び記録の徹底に関する周知徹底の必要性が浮き彫りになった。

② 苦情・要望への適切な対応

各施設による満足度調査等の実施により、幅広く苦情、要望等を受け付ける体制を整え、受け付けた苦情等には迅速に対応し、利用者ニーズの実現に可能な限り応えていくよう努めた。

③ 新型コロナウイルスなどの感染症対策

オンラインを活用した研修や会議の実施を拡大するとともに、各施設において感染症対策を適切に実施したことにより、施設内感染やクラスター発生を防止することができた。

(3) 秋田県研修委託事業の実施

① 研修委託事業

秋田県からの委託を受け、以下の研修の企画・開催・運営を実施した。

・強度行動障害支援者養成研修

県内の障害福祉サービス事業所等の従事者を対象に、強度行動障がいの有する方に適切な支援を行う人材の育成を目的として実施した。

・障害者虐待防止・権利擁護研修

県内の障害福祉サービス事業者及び障がい者への対応にあたる学校、医療従事者、行政職員等を対象に、障がい者虐待の問題についての理解を深め、専門性を高めることを目的として実施した。

・相談支援従事者研修

令和3年度から新たに委託を受け、県内の相談支援事業所等において相談業務を行う方を対象に、障がい者等の意向に基づく地域生活を実現するために必要な保健、医療、福祉、就労、教育などのサービスに係る総合的かつ適切な利用支援等の援助技術を習得し、資質の向上を図ることを目的として実施した。

2 地域とともに歩む施設づくり

(1) 地域における公益的な取組の推進

① 取組実績

社会福祉法人の責務となっている地域貢献については、コロナ禍で活動が制限される中、次のとおり取り組んだ。

・事務局

新型コロナウイルス感染症の影響により、活動自粛する期間もあったが、状況を見ながら物資運搬等の作業や老人福祉総合エリアのフードボックスから回収したレトルト食品、米、ジュースをNPO法人に寄付した。

・高清水園

新型コロナウイルス感染症や台風の影響により、活動を断念した。

・心身障害者コロニー

新型コロナウイルス感染症の対応をしながら、コロニー就労支援B型事業と連携した生産物即売会については年2回予定とおり開催することができた。

一方、感染症対策のためイベント案内を過去の参加者に限定して送付したが、案内がなかったという苦情もあったため、今後の開催方法について、案内対象者などの課題が残った。

・由利本荘地域生活支援センター

地域の保護者等を対象にペアレントトレーニングに関する講座を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。代替の活動として、ペアレントトレーニングについての周知パンフレットを作成し、来所した保護者等に配布した。

・阿桜園

新型コロナウイルス感染症の状況について配慮しながら、一部中止したイベントもあったが、陶芸教室を4回、調理教室、映画鑑賞会を実施することができた。

・やまばと園

新型コロナウイルス感染症の影響により一部開催中止としたが、地域で生活する方々の休日の余暇活動の充実を目的にイベントを行った。今後は、活動内容を検討し、休日の活動として地域に定着するよう実施したい。

・障害者支援センター御所野

入浴のニーズはあるものの新型コロナウイルス感染症の状況により実施ができなかった。この取組はニーズとしてはあるため継続するが、コロナ禍であっても実施できる活動を検討したい。

・点字図書館

新型コロナウイルス感染症拡大予防対策に努めながら、館内では「夏休み点字図書館体験」、「小学校の点字体験学習の受入」を開催した。

(2) 地域生活を支える支援（セーフティネット）

① 地域包括的な支援体制の整備

高清水園においては、モーニングケアと食事提供及びサテライト型住宅利用者への対応を充実させるために勤務体制を検討し、早番勤務と遅番勤務を組み入れたほか、長期入院者について、病院・サポートセンター・相談支援事業所間で意見交換と情報共有及び関係機関との調整を行い、退院後も地域生活を継続できるように対応した。

また、由利本荘地域生活支援センターにおいては、利用者の状況や希望に応じて、グループホームの利用者入れ替えなどを行い、必要に応じて介護保険事業への移行等も支援した。

② 地域生活支援サービスの提供

地域の障がい者の緊急時受け入れについては、相談支援事業等が連絡調整を行いながらグループホームの体験利用なども活用してニーズに対応した。

また、由利本荘地域生活支援センターにおいては、由利本荘市より障がい者等緊急一時的居室確保事業を受託して事業を開始した。

(3) 利用者と地域住民との交流促進

① 交流機会の確保

新型コロナウイルス感染症対策を講じた制限のあるイベントとはなったが、地域住民が利用者や施設に対する理解を深めることができるよう、交流機会の確保に取り組んだ。

3 職員がやりがいを持って働ける職場づくり

(1) 多様で良質な福祉人材の確保

① 職員採用の取組の強化

新型コロナウイルス感染症の動向に配慮しつつ、可能な限り就職説明会への参加に努めた。

また、長期休暇取得制度を創設する等、法人の充実した福利厚生についてのアピールポイントを強化し、次年度以降の優れた人材確保の足掛かりにするとともに、内部職員の離職防止に力を入れた。

② 職員の待遇改善

入所施設の支援員の確保と職場定着を図るため、国の処遇改善交付金・補助金を活用し、職員の待遇改善に取り組んだ。

例 正職員 職種問わず全職員 5千円の増

契約職員 従前の処遇改善手当19千円受給する職員 9千円の増

従前の処遇改善手当を受給していない職員 5千円の増

③ 継続雇用職員の待遇改善

正職員の定年延長を見据え、退職後もキャリアを生かした職務として、経験・ノウハウを基に多様な働き方ができるよう継続雇用職員の待遇改善を図った。

④ 資格取得の奨励

介護福祉士等の資格取得への取組を奨励するなど職員の自己啓発を進め、自己研鑽及び業務遂行能力の一層の高揚を図った。

【新規資格取得者】

・介護福祉士	2人	・保育士	2人
・社会福祉士	2人	・介護支援専門員	1人
・精神保健福祉士	2人	・公認心理師	1人
・主任介護支援専門員	1人		

(2) 事業団の将来を担う中核的な人材の育成

① キャリアパス体系、研修体系の整備

当法人でキャリアを形成していく上での道筋をイメージしながら、それぞれのキャリアパスの段階に応じて共通に求められる能力の向上を段階的・体系的に習得することを支援するために、令和4年度から法人研修としてキャリアパス体系に基づいた研修を実施できるよう体制整備を図った。

② 将来を見据えた資格取得者の計画的確保

相談支援専門員、サービス管理責任者、介護支援専門員などの施設運営上欠くことのできない資格を有する職員については、全施設から候補者を募り、計画的に研修受講者の選定をし、資格取得を推進するなど将来を見据えた人材の育成を図った。

③ 人事評価制度の構築

人事評価制度の導入について、人事評価制度検討作業チームを設置し、人事評価規程（案）を作成し、施設長会議に報告した。その後も作業チームで論点や課題について検討した。

(3) 働き方改革を踏まえた処遇の改善と職場環境の向上

① ワークライフバランスへの配慮

職員の満足度やモチベーションのアップにつながるワークライフバランスについては、優れた人材の確保や生産性の向上などにも寄与することから、適正な業務分担と人事配置、時間外労働の削減、業務の見直し、長期休暇制度の創設などに取り組んだ。

② 同一労働同一賃金への対応

国の処遇改善交付金・補助金を活用し、非正規職員に重点を置いて処遇改善手当を引き上げた。また令和4年度から非正規職員は、処遇改善手当を廃止し、その相当分を安定的な基本給とするとともに、正職員も業務手当を創設し、全職員の待遇改善を図った。

③ ハラスメント対策の強化

各種ハラスメントは、職員に身体的・精神的な苦痛を与え、就業環境が悪化し職務遂行に重大な悪影響を与えるものであることから、職員に対して、相談窓口やハラスメント防止規程の周知徹底を図った。

④ メンタルヘルスケアの充実

過度のストレスは、職員のメンタルヘルスに悪影響を及ぼすばかりではなく、事故の要因や円滑な業務推進の妨げになるなどの支障が生じる恐れがあることから、メンタルヘルスの不調リスクの低減に向けて、全職員のストレスチェックを実施した。また、新規採用職員に対し、メンタルヘルス教育を行い、その重要性とセルフチェック機能の周知を行うとともに、メンター制度を導入することで、仕事上の悩みや不安の解消に努めた。

(4) 業務改善に向けた取組

① ICTによるシステムや介護ロボット等の活用

日々の業務の効率化は、基幹システムである福祉の森を効率的に運用することでもあるため、新たなシステム機能の導入検討、タブレット等を使用した新しい形態の運用、在宅ワークに対応する方法等の可能性について情報収集に努めた。

② ネットワークシステムの更新

今後の Windows によるサブスクリプション型ライセンスを視野に、現段階で最も機能・費用ともに効率的なネットワークシステムの在り方について、法人内にチームを設置して検討を進め、令和4年度に新たに更新することとした。

4 自立し持続可能な経営基盤づくり

(1) 組織力強化に向けたガバナンスの確立

① 会議の開催状況

評議員会、理事会及び施設長会議を開催し、事業計画、予算、決算など重要事項について審議した。

区 分	開催日	主な決議・協議事項
評議員会	令和3年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度事業報告及び決算 役員（理事、監事）の選任 会計監査人の選任
	令和4年3月22日	<ul style="list-style-type: none"> 定款の一部変更（みなし決議）
理事会	令和3年4月30日	<ul style="list-style-type: none"> 理事長の選定
	令和3年6月3日	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度事業報告及び決算 評議員候補者の推薦 役員（理事・監事）の選任 会計監査人の選任及び報酬 評議員選任・解任委員会委員の選任 評議員選任・解任委員会運営規則等の一部改正 職員就業規則等の一部改正 定時評議員会の開催
	令和3年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> 理事長の選定 職員就業規則等の一部改正
	令和3年9月10日	<ul style="list-style-type: none"> 有期契約職員就業規則の一部改正（みなし決議）
	令和3年11月1日	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度第1回補正予算 旅費規則の一部改正 会計規則の一部改正
	令和4年2月28日	<ul style="list-style-type: none"> 職員給与規則の一部改正（みなし決議） 有期契約職員就業規則の一部改正（みなし決議） 無期契約職員就業規則の一部改正（みなし決議）
	令和4年3月16日	<ul style="list-style-type: none"> 定款の一部変更 組織規則等の一部改正 令和3年度第2次補正予算 令和4年度事業計画・当初予算 施設長等の任命 役員賠償責任保険への加入 評議員会の開催（みなし決議） 令和4年度職員採用計画 正職員の定年延長
評議員選任・ 解任委員会	令和3年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> 評議員の選任
施設長会議	7回開催（5月、7月、10月、12月、2月、3月）	

② 監査体制

会計監査人及び監事による監査のほか、本部職員による内部監査を実施した。

区 分	実施状況	内 容
監事の監査	令和3年5月28日	令和2年度事業報告及び決算
会計監査人の監査	令和3年5月28日	令和2年度事業報告及び決算
	令和3年11月9日 ～3年11月15日	各施設（会計拠点区分）の期末監査
	令和4年1月17日 ～4年1月21日	各施設（会計拠点区分）の期中監査
	令和4年3月17日	事務局の期中監査
内部監査	令和3年10月11日～19日	施設の会計処理

(2) コンプライアンスの徹底

① コンプライアンス教育

社会的な規範やモラルを守りつつ、関係法令を遵守し、公益的かつ信頼性の高い経営を実現するため、引き続き相談窓口の周知といったコンプライアンス体制の確立に努めるとともに、職員が福祉関係法令、虐待防止法等を適切に理解するようコンプライアンス教育の実践に取り組んだ。

(3) 自立的な経営を支える財務基盤の確立

① 既存事業・サービスの見直し（定員の見直し）

・心身障害者コロニー

利用者の障がい特性を踏まえつつ、役割に着目した組織再編を実施することとした。

・由利本荘地域生活支援センター

利用スペース確保によるサービスの質の向上を図るため、令和3年4月に生活介護事業の定員を30名から20名に変更した。

就労継続支援B型事業については、令和3年度末で廃止した。

・阿桜園

令和3年4月に施設入所支援の定員を70名から60名へ、生活介護の定員を80名から70名へそれぞれ変更した。

令和3年8月に児童発達支援・放課後等デイサービスの多機能型事業の定員を5名から10名に変更した。また、放課後等デイサービス事業を本体事業所から横手市内へ移転し、放課後等デイサービス事業所さくらっこ（定員10名）として開始した。

・軽費老人ホーム

特定施設入居者生活介護について、利用者ニーズに対応し、かつ収支改善を図るため、令和3年5月に定員を25名から30名へ変更した。

・グループホーム

利用者の障がい特性や年齢等の動向を踏まえ、由利本荘地域のグループホームの組織再編を行った。

② 県有大規模施設の今後の在り方

南部老人福祉総合エリアのあり方について、令和3年度も協議を行い、令和4年度も引き続き秋田県及び横手市と協議を継続することを確認した。

(4) 効果的な改修による施設の長寿命化と計画的な改築等

① 施設修繕支援の活用

秋田県建築住宅センターから専門的なアドバイスを得ながら、老朽化している建物や設備の調査を行い、計画的な建物設備の修繕等に取り組んだ。

単位：千円

施設名	内 容	契約額
高清水園	外調機修繕	1,848
	煙感知器更新	968
	非常照明更新	1,672
心身障害者コロニー	専用水道水モーター更新	3,960
南部エリア（軽費）	シリンダー錠取り換え	1,210
計		9,658

② 事業展開積立金

将来の阿桜園と高清水園の改築などを見据え、その原資となる事業展開積立金の令和7年度末目標額を概ね30億円とし、令和3年度は、2.5億円の積立目標に対し、3.3億円となった。

単位：百万円

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業展開 積立金	当期積立	405	386	372	330
	当期取崩	▲824	▲16	▲3	0
	累計額	1,400	1,770	2,139	2,469

(5) 危機管理体制の強化

① 事業継続計画の策定

新型コロナウイルス等の感染症や大規模災害等に対応した事業継続計画について、BCP（事業継続計画）検討作業チームを設置し検討した。

② メール送信システムの見直し

これまでのメール送信システムを見直し、より使用しやすいシステムに変更をするとともに、新システムにおいて緊急時を想定した訓練を実施した。

II. 施設別の概要

秋田県北部老人福祉総合エリア

① 利用者増に向けたPR活動の展開

- ・新型コロナウイルスに係る緊急事態宣言や県警戒レベルの変動と連動した事業所独自の指標を基に、お客様の安全確保および感染症対策を優先して事業を推進した。
- ・新規パンフレットを作成し、関係各所（33か所）に営業活動を行った。
- ・広報誌（市広報、十二所地区広報）に各種教室の開催情報や記事を掲載するとともに、地元有力新聞にも広告を掲載した。
- ・地元中学校やNPO法人などとともに、エントランスホール賑わい創出の企画展示（7回）を行った。
- ・Twitterによるタイムリーな情報発信及び自治体等の宿泊キャンペーンに参画する等、コロナ禍の様々な制限がある中においても、利用客増に向け積極的に取り組んだ。

② 教室の企画、開催

- ・健康増進教室は年2回開催予定であったが、前期のみ（4教室（5コース）：5月～6月）開催した。
- ・常勤講師による木工教室は8月下旬から9月まで、2月から3月まで中止、外部講師による料理教室は2回（7、12月）開催。10月開催分は中止となった。
- ・地域包括支援センターとの共催による高齢者健康教室は、十分な感染症対策を講じた上で、毎月開催した。
- ・教室を受講されるお客様に対し、感染症対策による教室の開催状況について適切な情報提供を行うとともに、きめ細やかな連絡体制を構築し、教室受講生から好評を得ることができた。

③ イベント等の開催

- ・県社会福祉協議会と共催による「進路ガイダンス・高校生福祉セミナー」は例年どおり8月上旬に開催した。
- ・高齢者の健康づくり事業であるグラウンド・ゴルフ大会は年2回（春季・秋季）の開催予定であったが、春季（6月中旬）のみ開催となった。ユニカール大会は年2回（秋季・冬季）であったが、中止となった。
- ・「県の記念日」及び「敬老の日」は、例年どおりの全部門に係る無料開放ではなく、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、屋外テニスコートに限定して無料開放を行った。

④ 世代間交流等

- ・6月上旬のサツマイモの苗植えは、市内保育園ごとに職員・園児と老人クラブの方々の合同により開催した。
- ・9月下旬からの収穫は、市内保育園ごとに職員・園児のみで開催した。

⑤ 新型コロナウイルス対策

- ・秋田県警戒レベルに添った指標を作成し、前年度に作成した国が発出している業種毎ガイドラインに基づく業務マニュアルと併せ、新生活様式の徹底・ソーシャルディスタンスの確保及びクラスターが発生しないよう感染防止に努めた。

利用状況（北部エリア）

1. コミュニティセンターの利用状況

単位：人

区 分		年 間 合 計 (人)		比較増減
		令和3年度	令和2年度	
有料	休 憩	21,444	19,610	1,834
	宿 泊	959	801	158
	会 議 室 等	2,182	1,592	590
	屋内運動広場	743	533	210
	テニスコート	842	590	252
	各種自主事業等	740	1,045	△ 305
	小 計	26,910	24,171	2,739
無料	屋内運動広場	12,609	11,391	1,218
	屋外運動施設等	1,026	625	401
	各種自主事業等	3,882	3,426	456
	視 察 等	38	129	△ 91
	小 計	17,555	15,571	1,984
合 計		44,465	39,742	4,723

2. 各種教室・講座の利用状況

() 内は開催回数

区 分		令和3年度	令和2年度	比較増減	
生きがい活動	有料	陶 芸	0 (0)	451 (113)	△ 451 (△ 113)
		木 工	398 (105)	320 (110)	78 (△ 5)
		園 芸	10 (2)	8 (1)	2 (1)
		茶 道	0 (0)	82 (11)	△ 82 (△ 11)
		その他の教室	332 (40)	184 (24)	148 (16)
		小 計	740 (147)	1,045 (259)	△ 305 (△ 112)

区 分		令和3年度	令和2年度	比較増減	
健康づくり	有料	スポーツ大会等	77 (1)	71 (1)	6 (0)
		小 計	77 (1)	71 (1)	6 (0)
交流活動	無料	交流イベント等	389 (21)	256 (9)	133 (12)
		小 計	389 (21)	256 (9)	133 (12)
その他	無料	映 写 会	1,620 (111)	1,460 (140)	160 (△ 29)
		無 料 開 放	41 (2)	19 (2)	22 (0)
		ポイントカード等	1,755 (12)	1,620 (12)	135 (0)
		小 計	3,416 (125)	3,099 (154)	317 (△ 29)
合 計		3,882 (147)	3,426 (164)	456 (△ 17)	

3. 利用状況の推移

単位：人

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年間利用者数	56,361	68,363	70,019	39,742	44,465

秋田県中央地区老人福祉総合エリア

① 求められるニーズを調査検証し、魅力ある企画を開催

- ・新型コロナウイルス感染状況を見ながら感染防止を優先した営業に努めた。秋田県の警戒レベルに対応した独自の営業マニュアルを作成し、感染防止のため利用人数制限や各種教室及びイベント等を中止した。
- ・各種教室の受講生にアンケートを実施し、要望等の分析、検討を行い、来年度の教室に反映させることとした。

② サービスの向上

- ・精神・発達障害者しごとサポーター養成講座など多種多様な研修に参加し、職員一人ひとりの資質向上に繋げた。
- ・利用者意見である「お客様からの声」を69件頂いたが、内容について分析、検討した結果を職員会議、苦情解決処理委員会等で報告し、第三者委員や職員から意見・助言を得て再検討を行い、お客様へのサービス向上に努めた。

③ 感染症対策

- ・感染防止対策を徹底するため、「旅館ホテルにおける新型コロナウイルス感染防止対策マニュアル」を参考に感染防止対策を行った。また、観光庁の事業である「宿泊施設に対する感染対策現地調査」に申込み現地調査を受け、「感染防止対策ガイドライン」の基準を満たしているとのことで「感染対策済ステッカー」を頂いた。

④ 設備等の維持管理

- ・建築基準法や各法令に基づき、職員の自主点検や委託業者による保守点検などを実施しているが、5月には埋設された未使用の水道管が破裂、7月には屋内温水プールのプールサイドにおいて転倒事故が発生、9月には屋内温水プール機械室の原湯貯湯槽より「レジオネラ属菌」を検出。1月には屋内温水プールの天井の一部が剥がれ、落下する恐れがあるとして長期間の休業を余儀なくされた。屋内温水プールの休業に伴い、平成21年度から受託している「秋田市はつらつくらぶ事業」の継続受託を断念した。3月にはレストラン系統のエアコン室外機が故障しエアコンの使用が出来ない状態となっている。

いずれも、建物や設備等の経年劣化が主因であるが、事故の未然防止を含め利用者保護を最優先に、建物、設備等の点検を重点的に実施し、秋田県に点検報告や修繕要望を行っていくこととした。

利用状況（中央エリア）

1. コミュニティセンターの利用状況

※単位：人

区 分		年 間 合 計 (人)		比較増減
		令和3年度	令和2年度	
有料	休 憩	27,572	31,572	△ 4,000
	宿 泊	875	787	88
	会 議 室 等	12,276	11,299	977
	屋 内 運 動 広 場	22,339	21,673	666
	緑 地 運 動 広 場	3,960	2,817	1,143
	陶 芸 室 等	2,132	2,429	△ 297
	プ ー ル	21,120	26,542	△ 5,422
	休憩&プールセット	182	326	△ 144
	各種自主事業等	1,683	2,738	△ 1,055
小 計	92,139	100,183	△ 8,044	
無料	屋 内 運 動 広 場	0	0	0
	屋 外 運 動 施 設 等	100	109	△ 9
	各種自主事業等	346	406	△ 60
	視 察 等	0	0	0
	小 計	446	515	△ 69
合 計		92,585	100,698	△ 8,113

2. 各種教室・講座の利用状況

※単位：人（ ）内は開催回数

区 分		令和3年度	令和2年度	比較増減	
		令和3年度	令和2年度	比較増減	
有料	生 き が い 活 動	陶 芸	308 (38)	519 (43)	△ 211 (△ 5)
		フ ラ ワ ー	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		茶 道	66 (14)	122 (22)	△ 56 (△ 8)
		その他の教室	15 (1)	29 (1)	△ 14 (0)
		小 計	389 (53)	670 (66)	△ 281 (△ 13)
	健 康 づ く り 活 動	太 極 拳	244 (19)	380 (30)	△ 136 (△ 11)
		コ ア ト レ EX	142 (16)	283 (27)	△ 141 (△ 11)
		はつらつくらぶ事業	352 (8)	209 (12)	143 (△ 4)
		健康づくり事業	205 (28)	328 (41)	△ 123 (△ 13)
	小 計	943 (71)	1,200 (110)	△ 257 (△ 39)	
	そ の 他	イ ベ ン ト 等	0 (0)	868 (0)	△ 868 (0)
		小 計	0 (0)	868 (0)	△ 868 (0)
	合 計		1,332 (124)	2,738 (176)	△ 1,406 (△ 52)

有料	健康	水 泳 教 室	358 (58)	868 (114)	△ 510 (△ 56)
合 計			358 (58)	868 (114)	△ 510 (△ 56)

区 分		令和3年度	令和2年度	比較増減	
そ の 他	無 料	ポイントカード	276 (268)	268 (268)	8 (0)
		無 料 開 放 等	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		ボランティアルーム	70 (7)	138 (10)	△ 68 (△ 3)
合 計		346 (275)	406 (278)	△ 60 (△ 3)	

3. 利用状況の推移

※単位:人

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年 間 利 用 者 数	169,052	159,503	166,036	100,698	92,585

秋田県南部老人福祉総合エリア

【コミュニティセンター】

① 多様な媒体を使ったPR活動

- ・新型コロナ感染予防対策から、イベント及び教室積極的なPR活動が難しかった。通年行っている近隣への紙媒体での月間予定の周知活動、HPでのイベント紹介、館内のポスター掲示等、制限下ではあったが、例年並みの広報活動は行うことができた。
- ・HPの閲覧からや新聞記事掲載からの問い合わせがあり、今後も広告媒体の検証及び宣伝方法について検討が必要と思われる。

② 魅力の具体化

- ・感染症予防の観点から、地域住民が参加する夏祭り等のイベントを中止した。事業、企画の具現化が難しい状況ではあったが、ヨモギ湯等替わり風呂を年7回の実施、ミニイベントとして楽しみにされている利用者の方もみられるようになった。
- ・職員間で感染予防対策の意見交換をしっかりと行い、安全な環境を提供することができた。

③ 創作館を含めた開催教室の充実

- ・新規教室としてテーブルフラワー教室を開催、毎回13名程度の参加者があり季節に合った内容を提供することから、参加者からも好評を得ている。
- ・今年度から教室参加費を値上げ（100円→300円）したが、令和元年度実績と参加者数を比較した結果80%の微減となっていることから、コロナ禍の状況を考慮すると想定よりも値上げによる影響は少なかった。一方、新規教室の計画、開催教室の内容検討等、今後の利用者増に向けた取組が必要と思われる。

【養護老人ホーム】

① 高齢化・重度化への対応

- ・日課の1つとして毎朝ラジオ体操や毎週1回火曜日に健康体操を行い、『リハビリ体操』や『タオル体操』『口腔ケア体操』等の運動に加え、年2回横手市健康の駅の職員に在所してもらい、参加希望者に対しストレッチ体操による身体機能低下防止に努めた。その他、音楽クラブでは好きな歌をリクエストして歌ってもらう機会やごきげんクラブでは塗り絵の他、季節に応じた行事の準備作業から参加してもらうことにより、季節感が感じられるよう努めた。
- ・パーキンソン病の方1名については、通院している病院の理学療法士に週1回来所してもらい、本人の身体状況に応じて個別に館内歩行等して身体機能維持を図った。
- ・身体状況に変化が生じた場合は担当ケアマネへ連絡して介護度の見直しを図り、必要なサービス（ヘルパー利用、福祉用具の利用・設置等）を提供するよう努めた。また認知症が進んだ等の状態に変化があった際はアセスメントの見直しやケース検討を行い、職員間で情報を共有して対応するとともに、家族に状況を報告するよう努めた。

・介護度が高くなった入居者については施設移行を検討するが、様々な理由からスムーズな移行が進んでいない状況である。

② 住環境の整備

・令和3年度秋までに入居者各居室へエアコンが完備され、快適性が向上している。
・改修が必要な個所については優先順位を検討し、浴槽（自動温度設定機能付き等要望しているが、予算の確保には至っていない。今後も引き続き検討していく必要があると思われる。

③ 経営の安定化

・令和3年4月1日時点で在籍49名、9月29日には定員の50名となるが、令和4年3月31日現在の在籍は46名の状況である。内訳としては、令和3年度中は横手市からの措置入所者が3名、ひらか荘と映月荘の合併に伴う入所調整のため1名、計4名の方が入所された一方で、3か月以上の長期入院、急変による逝去、他施設への移行等の理由による退所があった。また、コロナ禍による入所の保留といったケースもあった。

【軽費老人ホーム】

① 特定施設入居者生活介護事業のサービス水準の維持向上

・定員在籍については、4月1日までに定員の25名に達し、5月1日に定員を30名に変更する。その後は入退院もあり25～26名を行き来しているが、年度末は29名となった。今後も利用希望者増える見込みあり、来年度は、書類等の手続きが取れ次第増床する予定で進めている。
・利用者の介護の重度化・高齢化・認知面の低下が著明になってきているが、ケアマネジャーが個々のニーズに合わせたプランを作成しており、残存能力の維持に努めている。

② 利用者のQOL向上への取組

・利用者一人一人のニーズに合った個別支援計画及びケアプランの作成・見直しを行い、日々充実し心が満たされた生活が送れるよう努めた。
・コロナ禍により昨年度に引き続き面会・外出・外泊自粛により利用者の活動範囲が大幅に制限された事でADLや認知機能の低下が心配された為、可能な範囲で活動提供を行った。週単位で行われている健康体操・コーヒータイトム・レクリエーションの他、軽費独自の夏祭りや花火大会、ミニかまくら鑑賞なども定着した行事としてとして実施しコロナ禍でも楽しめるように工夫した。

③ 住環境の整備

・利用者の高齢化・身体機能の変化によって安全に生活出来るような環境整備を行い、必要時は本人の同意を得て福祉用具の設置を行った。
・入浴については、本人の心身の状態に応じて介助浴・特殊浴を活用し安心して入浴出来る体制を整えた。

④ 健康管理

- ・新型コロナウイルス流行に伴い、今まで以上に施設内・手指消毒、換気の実施を行った。また、感染症予防対策及び発生時の拡大防止に努め、感染症発生時のロールプレイを行い職員間で対応策の周知徹底を図り感染予防に繋げた。
- ・年2回の健康診断のほか、通院の付き添い(特別入居者生活介護利用者)、通院時の聞き取り、毎週実施している健康相談・血圧測定にて利用者の健康状態の把握に努めた。

【老人専用マンション】

① 入居者増に向けた取組

- ・関係機関への広報活動、今年度は横手市介護相談員事業広報誌での施設紹介、フリーペーパーでの施設紹介等にてPR活動に努めた。入居問い合わせ15件、新入居1名あり、在籍数が5名となる。

② 入居者のQOL向上への取組

- ・入居者の様々なニーズに応じて個別に支援実施。コロナ感染予防を図りながら県南地域の外出支援、入居者主体の活動支援等工夫を凝らし実施した。また共用部にエアロバイクを設置し健康増進に努めた。
- ・昨年度に引き続き、軽費老人ホームと合同でミニかまくら鑑賞等定着した行事として実施しコロナ禍でも楽しめるように工夫した。

③ 住環境の整備

- ・入居者の身体状況及び環境変化に応じて、共同スペースのレイアウトを変更し、より快適な空間を目指した。
- ・1階玄関ロビーにWi-Fi設置したことで、ネットを活用する入居者の活動の場を広げることができた。

④ 健康管理

- ・転倒防止の取り組みとして、定期的な健康体操の実施、入居者の自主活動への支援、また居宅支援センターとの連携を図りながら、身体状態の変化に応じて必要な福祉用具の利用等を勧め、転倒防止に努めた。
- ・感染予防対策として、施設内消毒・換気の実施。新型コロナウイルス感染予防マニュアルを周知し、標準予防対策の徹底を図ることで、感染予防に繋げた。

【居宅支援センター】

＜指定居宅介護支援事業所＞

① 安定した運営

- ・担当件数の上限を保つことができていた反面、上限のため断らなければならないケースもあった。

② サービスの向上に向けた取組

- ・住み慣れた地域で安心・安全な生活を送ることができるよう、総合的にアセスメントを行い、利用者やご家族からの要望等を考慮したケアプランの作成に努めた。
- ・サービス事業所を選択の際は、重要事項説明書を用いて説明を行い、複数のサービス事業所について提案し、利用者自身が選択できるよう努めた。

③ 事業所等との連携の強化

- ・地域ケア会議に出席し、会議内容を周知し、地域課題等の共有に努めた。また、研修等に積極的に参加し、各関係機関との連携強化にも努めた。
- ・訪問介護事業所、エリア内施設と連絡調整会議を定期的実施することにより、情報を共有し共通の認識で支援できたとともに、ケアプランにも反映させることができた。

＜指定訪問介護事業所＞

① サービスの向上に向けた取組

- ・毎月居宅支援センター会議を開催し、ケアプランに沿ったサービス提供ができているか、また3か月ごとにケアカンファレンスを行い、ケアプランが利用者のニーズに合ったものか確認することができた。
- ・満足度調査の実施により、利用者の評価と要望に対し速やかに対応し、提供するサービスの質の向上に努めた。

② 事業所等との連携の強化

- ・毎月施設との連絡会を開催し、利用者の情報を交換し共有することで利用者のニーズに対応したサービスを提供することができた。
- ・各居宅介護支援事業所へは、毎月モニタリング票で利用者の情報を提供している。

利用状況（南部エリア）

1. コミュニティセンターの利用状況

単位：人

区 分		年 間 合 計（人）		比較増減
		令和3年度	令和2年度	
有 料	休 憩	6,734	5,518	1,216
	宿 泊	311	41	270
	会 議 室 等	95	48	47
	屋 内 運 動 広 場	1,916	1,895	21
	プ ー ル	6,699	4,872	1,827
	セット券	78	37	41
	各種自主事業等	2,034	2,065	△ 31
	小 計	17,867	14,476	3,391
無 料	屋 内 運 動 広 場	17,819	13,709	4,110
	屋外運動施設等	3,056	1,227	1,829
	各種自主事業等	8,467	6,459	2,008
	視 察 等	10	47	△ 37
	小 計	29,352	21,442	7,910
合 計		47,219	35,918	11,301

2. 各種教室・講座の利用状況

（ ）内は開催回数

区 分		令和3年度	令和2年度	比較増減	
生 き が い 活 動	有 料	陶 芸	785 (296)	643 (159)	142 (137)
		民 芸	108 (19)	80 (14)	28 (5)
		水 泳	968 (141)	281 (84)	687 (57)
		茶 道	99 (10)	92 (5)	7 (5)
		その他の教室	886 (111)	634 (106)	252 (5)
		小 計	2,846 (577)	1,730 (368)	1,116 (209)

区 分		令和3年度	令和2年度	比較増減	
健 康 づ くり	有 料	スポーツ大会等	347 (7)	261 (4)	86 (3)
		小 計	347 (7)	261 (4)	86 (3)
交 流 活 動	無 料	交流イベント等	2,470 ()	882 ()	1,588 (0)
		小 計	2,470 (0)	882 (0)	1,588 (0)
そ の 他	無 料	映 写 会	586 (49)	345 (34)	241 (15)
		無 料 開 放	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		ポイントカード等	25 ()	47 ()	△ 22 (0)
		小 計	611 (49)	392 (34)	219 (15)
合 計		3,428 (56)	1,535 (38)	1,893 (18)	

3. 利用状況の推移

単位：人

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数	79,646	81,482	68,182	35,918	47,219

利用状況（南部エリア）

1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R3. 3. 31		R4. 3. 31		R3. 4～R4. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
養護老人ホーム	50	49	50	46	15,739	43.1
軽費老人ホーム	50	47	50	45	16,837	46.1
内 特定入居者生活介護	25	25	30	28	9,259	25.4
老人専用マンション	24	4	24	5	1,705	4.7

2. 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

（1）養護老人ホーム

介護度区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	3	1	2	2	0	0	8
女	0	2	8	10	4	2		26
計	0	5	9	12	6	2	0	34

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	0	0	0	1	8	7	16
女	0	0	0	0	1	7	22	30
計	0	0	0	0	2	15	29	46

（2）軽費老人ホーム

介護度区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	2	5	2	2	0	0	11
女	3	5	6	8	2	1	0	25
計	3	7	11	10	4	1	0	36

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	0	0	0	0	4	12	16
女	0	0	0	0	0	1	28	29
計	0	0	0	0	0	5	40	45

（3）居宅支援サービス

種 別	R3. 4～R4. 3延件数
指定居宅介護支援事業	732人
指定訪問介護事業	6,846人

高清水園

① 利用者の重度化・高齢化への対応

- ・事業所内研修として重度化・高齢化の利用者支援に比重を置いた食事介助、救急救命、応急処置、介護技術、栄養ケアマネジメント研修を実施し、人材の育成に努めた。
- ・利用者個々の特性や利用者同士の関係性に配慮した居住エリアの区画化を図り、利用しやすい居住環境の向上に努めた。

② 自閉症・強度行動障害等への専門的な取組

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により職員の各種研修への参加は限定されたことから事業所内研修を充実させ、基本的な食事介助、口腔ケア等の介護技術に関する研修を実施し支援技術の向上に努めた。
- ・アセスメント票の整備構築に努め、新様式で再アセスメントを実施したほか、支援アドバイザーからの助言をもとに対象利用者の応用行動分析等の実証検証を行い、モデル支援方法の確立を図った。

③ 地域生活基盤の体制整備と機能拡充

- ・地域生活者への支援としてモーニングケアと食事提供及びサテライト型住宅利用者への対応を充実させるために勤務体制を検討し、早番勤務と遅番勤務を組み入れたほか、長期入院者については、病院・サポートセンター・相談支援事業所間で意見交換と情報共有及び関係機関との調整を行い、退院後も地域生活を継続できるように対応した。
- ・地域公益的活動としてグループホーム周辺のクリーアップを計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施に至らなかった。
- ・定期的に事業推進委員会を開催し4月には羽後町に新規開設された日中サービス支援型グループホーム（笑羽）についての情報を共有したが、将来的な体制整備に向けた検討には至らなかった。

利用状況（障がい施設）

1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R3. 3. 31		R4. 3. 31		R3. 4～R4. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	88	83	88	84	29,834	81.8
生活介護	92	93	92	92	23,312	63.9
共同生活援助（GH結）	6	6	6	6	1,937	5.4
共同生活援助（GHみのり）	6	6	6	6	2,135	5.9
共同生活援助（GHあおぞら）	7	7	7	7	2,357	6.5
共同生活援助（GHさくら）	6	6	6	6	2,188	6.0
共同生活援助（GHこまち）	5	5	5	5	1,823	5.0
短期入所	8	40	8	5	90	0.3
放課後等デイサービス	10	23	10	16	1,786	7.6

種別	R3. 4～R4. 3延件数
相談支援（児童含）	858
日中一時支援	11

2. 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

（1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	2	13	40	55
女	0	0	0	0	1	8	20	29
計	0	0	0	0	3	21	60	84

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	10	8	28	8		1	0	55
女	5	9	11	3	1		0	29
計	15	17	39	11	1	1	0	84

（2）グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	2	0	2	2	2	4	0	12
女	8	0	2	3	1	2	2	18
計	10	0	4	5	3	6	2	30

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	3	6	2	1	0	0	12
女	2	6	8	2	0	0	0	18
計	2	9	14	4	1	0	0	30

秋田県心身障害者コロニー

① 虐待ゼロへの取組

・利用者への身体拘束に係る記録の未作成については、市町村への通報や相談を行った。虐待防止対策委員会の体制も各支援課と全体の2階層の対策委員会のほか、他課への点検助言等を行い、身体拘束廃止部会を設置し強化を図った。また、利用者への身体拘束廃止宣言、定期的にチェックリスト、全支援職員に対し、人権擁護・倫理行動規範・虐待防止・動作制限等の研修を徹底的に行い、虐待防止の強化に取り組んだ。

② より良いサービス提供体制の確立

・利用者の疾病や身体状況、個性等を考慮し、利用者及びご家族へサービス提供について丁寧な説明をし、ご理解のもと寮移動や課移動を実施した。また、より良いサービス提供体制の確立のため、新たな組織体制を協議検討し、新体制移行に向けて進めていった。

・就労継続支援B型事業の利用者の特性・高齢化に合わせた作業又は生活介護への移行等の協議・検討を行った。利用者との支援計画を基に利用者への説明と理解を図り、作業の変更や生活介護への意向を進めて行く。また、作業場所の一部を地域で提供できる体制の協議・検討を委員会にて継続していく。

・利用者の高齢化、障害特性に配慮したグループホームの必要性を切実に感じ、地域住民として長年生活してきた西目町地区への建設を進めて行くことにした。候補地の選定と絞り込みを行い、建設計画の作成を行い、事務局・由利本荘市と協議検討していく。

・職員の欠員補充のため、ハローワークでの会社説明会や新聞折り込みへの募集チラシの作成と定期的発行、リクルート社の紹介サイトへの投稿等と図ってきたが、欠員を埋めることはできなかった。職員への職場環境の改善も必要と思われ、改善を図っていく。

③ 強度行動障がいに対応した研修の受入れ

・強度行動障がいに対応した専用棟の環境を活かし、研修の受入れを進めていたが、組織体制の見直しや利用者の増加に伴い、令和3年度に予定していた法人内職員と令和4年度に予定していた県内施設職員の研修受入れについては、当面の間中止とし、新体制移行後に利用者の状況を鑑みながら、早期の実施に向けて進めていく。

④ 全創立50周年記念事業開催へ向けての準備

・創立50周年に向け、各担当委員が協議・検討を行い、実施要項及びスケジュール等に沿って、開催に向けて準備を進めていった。

⑤ 安定した運営体制の継続

・利用者の高齢や疾病のため、退所（自然減）に歯止めをかけることはできなかった。退所者数に応じた受入は厳しかったが、利用者の受入に努めた。また、減収減算がありながらも、支援区分変更、利用の促進、経費の削減等に努め、財政基盤の安定に尽くした。

利用状況（障がい施設）

1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R3. 3. 31		R4. 3. 31		R3. 4～R4. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	360	330	340	324	116,335	318.8
生活介護	400	314	350	308	81,544	223.5
就労継続B型	70	54	60	54	12,828	47.2
共同生活援助（GHわかまつ）	6	6	6	6	2,017	5.6
共同生活援助（GHやすらぎ）	6	6	6	6	2,116	5.8
共同生活援助（GHそよかぜ）	4	4	4	4	1,454	4.0
共同生活援助（GHはまなす）	4	4	4	4	1,455	4.0
共同生活援助（GHまつかぜ）	6	6	6	6	2,189	6.0
共同生活援助（GHしおさい）	5	5	5	5	1,824	5.0
共同生活援助（GHなでしこA）	5	5	5	5	1,822	5.0
共同生活援助（GHなでしこB）	4	3	4	4	1,459	4.0
共同生活援助（GHかもめ）	5	5	5	5	1,818	5.0
短期入所	5		5		93	0.3

種別	R3. 4～R4. 3延件数
日中一時支援	94

2. 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

（1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	1	9	33	63	71	177
女	0	0	0	2	21	39	85	147
計	0	0	1	11	54	102	156	324

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	19	15	20	28	34	40	21	177
女	2	6	14	18	29	47	31	147
計	21	21	34	46	63	87	52	324

※10代3名を20代に含める

（2）グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	1	0	6	9	7	4	0	27
女	1	0	1	7	7	2	0	18
計	2	0	7	16	14	6	0	45

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	1	4	1	11	9	1	27
女	0	1	1	2	5	7	2	18
計	0	2	5	3	16	16	3	45

利用状況（コロナー診療所）

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
医 科	診療日数	195日	203日	197日	190日	224日	
	延べ 受診者数	利用者	9,093人	9,643人	8,959人	9,345人	8,186人
		その他	126人	133人	121人	113人	65人
		計	9,219人	9,776人	9,080人	9,458人	8,251人
歯 科	診療日数	60日	76日	83日	90日	76日	
	延べ 受診者数	利用者	525人	647人	766人	731人	641人
		その他	0人	0人	0人	2人	0人
		計	525人	647人	766人	733人	641人
計	診療日数	255日	279日	280日	280日	300日	
	延べ 受診者数	利用者	9,618人	10,290人	9,725人	10,076人	8,827人
		その他	126人	133人	121人	115人	65人
		計	9,744人	10,423人	9,846人	10,191人	8,892人

由利本荘地域生活支援センター

① 利用者の年齢や特性に配慮したサービスを提供

- ・児童通所支援事業においては、由利本荘市福祉支援課や基幹相談支援センターと情報交換をして地域ニーズを確認した。また、支援学校で作成する教育計画と事業所の個別支援計画を互いに共有し、一貫性のある支援に努めた。
- ・令和3年4月より、生活介護事業の定員を30名から20名に変更した。利用者の特性に合わせた個別スペースを設ける等、ゆとりある生活空間を提供できるよう配慮した。
- ・令和4年3月31日をもって就労継続支援B型事業を廃止した。令和3年度中は、相談支援事業等と連携して利用者の希望に沿った日中活動の移行先の調整に努め、全利用者の移行が完了した。
- ・令和4年度より水林事業所が秋田県心身障害者コロニーの所管となることに伴い、就労継続支援B型事業廃止後の空きスペースはコロニー地域支援課等で使用することとなった。

② 地域生活の支援

- ・利用者の状況や希望に応じて、グループホームの利用者入れ替えなどを行った。また、必要に応じて介護保険事業への移行等も支援した。
- ・令和3年9月に、由利本荘市より障がい者等緊急一時的居室確保事業を受託して事業を開始した。
- ・地域の障がい者の緊急時受け入れについては、相談支援事業等が連絡調整を行いながらグループホームの体験利用なども活用してニーズに対応している。また、障がい特性理解や福祉用具体験等の事業所内研修を実施したほか、強度行動障がい支援者養成研修等の外部研修に職員を派遣する等してスキルアップに努めた。

③ 相談支援事業と受託事業（二事業）の継続

- ・精神障がい者支援の障がい特性と支援技法を学ぶ研修修了の他、各種研修に参加しスキルアップを図った。委託事業では新型コロナウイルスの状況に配慮してリモート開催などの工夫を重ね、研修等を実施した。
- ・相談支援事業所と基幹相談支援センターの業務を明確にするため、計画相談件数の調整を図り、円滑に運営できるよう努めた。
- ・就労継続支援B型事業廃止後の空きスペースについて、就業・生活支援センター事業の機能移転を検討したが、基幹相談支援センターと一体的にサービスを提供する必要性などから移転は困難と判断した。

利用状況（障がい施設）

1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R3. 3. 31		R4. 3. 31		R3. 4～R4. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
生活介護	30	39	20	39	4,541	17.0
就労継続B型	20	13	20	0	1,884	7.4
共同生活援助（GH御門A）	5	5	5	5	1,814	5.0
共同生活援助（GH御門B）	6	6	6	6	1,749	4.8
共同生活援助（GH清和A）	5	4	5	4	1,478	4.0
共同生活援助（GH清和B）	5	5	5	5	1,777	4.9
共同生活援助（GH朋A）	5	5	5	3	1,470	4.0
共同生活援助（GH朋B）	5	5	5	4	1,795	4.9
共同生活援助（GHめぐみ）	6	6	6	6	2,149	5.9
共同生活援助（GH菖蒲）	6	6	6	6	2,153	5.9
共同生活援助（GH若菜）	6	5	5	5	1,793	4.9
共同生活援助（GH虹）	5	5	5	4	1,827	5.0
共同生活援助（GH三愛A）	5	0	0	0	0	0.0
共同生活援助（GH三愛B）	5	5	5	5	1,806	4.9
児童発達支援	10	6	10	7	276	1.0
放課後等デイサービス	20	53	20	52	4,489	16.3

種 別	R3. 4～R4. 3延件数
相談支援（児童含）	1,826
障害児等療育支援	31
基幹相談支援センター	5,366
障害者就業・生活支援センター	3,450

2. 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	26	0	6	3	5	1	0	41
女	7	0	0	5	2	1	0	15
計	33	0	6	8	7	2	0	56

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	4	2	10	12	6	7	0	41
女	0	2	2	4	1	6	0	15
計	4	4	12	16	7	13	0	56

阿桜園

① 事業等の見直しと支援体制の強化

- ・第4次経営計画に基づく事業の見直しや利用定員変更等により、「阿桜園施設入所支援」を70名から60名に、「阿桜園生活介護」を80名から70名に変更した。
- ・多機能の重症心身障害児（者）通所事業の生活介護事業を「阿桜園生活介護事業」に繰り入れ、児童発達支援事業と放課後等デイサービスは10名定員の重症心身障害児も対象とする多機能型事業所とした。また、8月には園外に放課後等デイサービスの新規事業所を開設し、2事業所の運営による利用率の向上、改善に向けて取り組んだ。
- ・10月に発生した利用者への不適切な支援について県や市町村へ通報し、身体拘束廃止未実施減算に係る改善計画と身体拘束の適正化に向けた取組について、全職員への説明と虐待防止研修による周知徹底を図り、再発防止に向けた支援体制の強化に努めた。

② 重度・高齢化への対応

- ・身体機能や認知機能の低下が著しい利用者に対応すべく、医療機関等からの指導助言や各種福祉用具の活用、個々の障害特性への対応により、日常生活面における安心・安全な住環境整備に努めた。
- ・居住棟の再編成については検討チームにより、利用者の身体状況や障害特性等を考慮したうえで編成案を重ねたが、利用者の男女比やハード面の課題から、現状に即した棟の再編成までには至らず、今後も継続的な検討事項とした。

③ 人材育成と職場定着及び人材の確保

- ・施設内外における研修体制の充実を図り、階層別研修や専門的な分野別研修を通じ、役職に相応した人材育成とスキル向上に伴う職場定着に努めた。また、メンタルヘルス職場改善研修のグループワークでは、職員相互の意見交換や情報共有が図られ、良好な職場環境へ向けた取組や改善点が明確化できた。
- ・慢性的な欠員状況を受け、ハローワークでの募集・面談会への参加と併行し、地元のフリーペーパーや求人検索サイト「indeed」への求人広告への有料掲載により、人材確保に向けた広報活動の推進に努めた。

④ 安全対策

- ・近隣施設（横手市赤坂105地区の3施設等）との合同訓練を実施し、緊急時の協力・連絡体制等相互間の連携強化を確認した。
- ・新型コロナウイルス感染症対策においては、毎週末開催の感染症対策会議により、感染状況に即した対応や決定事項により、感染防止の徹底に努めている状況である。

利用状況（障がい施設）

1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R3. 3. 31		R4. 3. 31		R3. 4～R4. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援(阿桜園)	70	60	60	58	20,953	57.4
施設入所支援(あざくら園)	40	38	40	39	13,812	37.8
生活介護(阿桜園)	75	65	70	76	17,265	64.2
生活介護(あざくら園)	40	39	40	41	10,368	38.5
生活介護(重症心身)	5	14				
福祉型障害児入所	5	4	5	5	1,513	4.1
共同生活援助(GH希望Ⅰ)	5	5	5	5	1,810	5.0
共同生活援助(GH希望Ⅱ)	5	4	5	5	1,782	4.9
短期入所	4	0	4	0	7	0.0
児童発達支援	5	0	10	0	0	0.0
放課後等デイサービス		3		11	824	3.4
放課後等デイサービス		10		15	10	13

種別	R3. 4～R4. 3延件数
相談支援(児童含)	691
日中一時支援	349
障害児等療育支援	284

2. 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

(1) 施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	10	22	40	72
女	0	0	0	0	1	6	18	25
計	0	0	0	0	11	28	58	97

年齢構成（障害児入所・施設入所）

区分	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80以上	計
男	4	5	16	20	19	7	3	1	75
女	2	5	4	4	6	1	3	2	27
計	6	10	20	24	25	8	6	3	102

(2) グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	1	0	0	3	1	0	0	5
女	0	0	0	2	1	2	0	5
計	1	0	0	5	2	2	0	10

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	2	0	2	1	0	0	0	5
女	0	0	2	1	1	0	1	5
計	2	0	4	2	1	0	1	10

やまばと園

① 安定的な事業の推進

・新型コロナウイルス感染症対策については、施設利用者の感染リスクの回避・低減を図るため、入所利用者と通所利用者の施設内活動スペースの分離を継続した。また職員の感染症り患による通所事業の休止期間が発生したが、入所・通所利用者ともに影響なく短期間で事業再開することができた。施設入所欠員は、年度途中で2名が入所し定員を満たしている。

・放課後等デイサービスの事業実施場所については、現在使用している地域の公共施設が来年度解体されることとなっており、次年度は継続的に事業運営可能な場所を決定し、翌年度からは移転先での事業実施を目指す。

② 重度化・高齢化と施設の長寿命化

・特殊浴槽の設置に向けて具体的な機種選定や浴槽の配置位置等について施設内でも協議検討し、湯沢雄勝広域市町村圏組合との協議を踏まえ、令和4年度中に設置することとなった。また、施設設備の長寿命化を目的とした令和3年度から7年度までの改修計画についても再度湯沢雄勝広域市町村圏組合と協議を重ね、優先順位に応じた改修の見通しを確認した。

・利用者の重度化高齢化による顕著な心身機能の低下に対しては、看護師、栄養士も交えた検討を実施し、健康管理面での目標値なども確認しながら対応してきた。

・ICTの具体的な導入についてのスケジュールを協議しつつ、タブレット等のデバイスの新たな活用方法や個人情報保護に関するガイドラインの作成・整備について検討した。オンライン面会なども含め、次年度からの導入とした。

③ 利用者の権利擁護と虐待防止

・利用者状況については、日々の支援業務のなかで把握していく部分が多いが、その時々々の環境（天候や場所、勤務職員等）により左右される場合も多々あることから、利用者の意思表示場面はもちろん、普段の何気ない様子についても把握しておくことが重要であることを伝えた。また、感染症拡大防止により、施設外での研修には参加できなかったが、施設内研修において、利用者の権利擁護・意思決定支援に関する内容を盛り込み実施した。

④ 公益的活動と広報活動の充実

・地域の在宅障害者（就労や通所事業所等に行けず、家族以外の人との交流がほとんどない方々）に対し、休日の余暇支援としてパークゴルフや紅葉狩り外出、稲庭うどんづくりなどを体験する機会を提供した。参加者が固定化しつつあるものの、楽しむ機会を提供することが出来た。

・当園利用者の地域交流は感染症防止対策のため実施出来なかったが、園での行事を実施した際の様子をホームページや広報等により情報発信することが出来た。今後も可能な限り地域との交流の機会を検討しつつ、施設内での普段の活動場面についても情報発信をしていく。

利用状況（障がい施設）

1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R3. 3. 31		R4. 3. 31		R3. 4～R4. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	60	59	60	60	20,979	57.5
生活介護	50	69	50	68	15,785	43.4
就労継続B型	10	10	10	10	2,328	8.6
共同生活援助（GHばってりー）	5	4	5	5	1,816	5.0
短期入所	8	3	8	4	52	0.1
放課後等デイサービス	10	25	10	16	2,125	8.8

種別	R3. 4～R4. 3延件数
相談支援（児童含）	416
日中一時支援	27
障害児等療育支援	210

2. 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

（1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	11	12	16	39
女	0	0	0	1	3	8	9	21
計	0	0	0	1	14	20	25	60

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	8	7	16	3	3	2	0	39
女	1	7	8	1	2	2	0	21
計	9	14	24	4	5	4	0	60

（2）グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	1	0	1	3	0	5
女	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	0	1	3	0	5

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	1	2	2	0	0	0	0	5
女	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	2	2	0	0	0	0	5

障害者支援センター御所野

① 職員の資質向上

- ・障害者虐待防止・権利擁護研修を全職員が年2回受講し、人権意識を高めた。
虐待防止チェックリスト第2回目の項目にて、不適切な支援について職員一人ひとりの認識を確認し、人権擁護への意識啓発を促した。
- ・感染予防については、ガウンテクニック研修の実施と併せて新型コロナウイルスの情報伝達をしながら感染予防意識を高めた。
- ・職員のスキルアップについては、支援アドバイザーへの相談や担当利用者をリフレーミングの視点で捉える研修を行い、サービス向上へ繋げた。

② 働きやすい職場環境の整備

- ・管理職と全職員の定期的な面談を複数回行い、安心して働く職場づくりに努めた。
- ・福祉機器展での情報収集には至らなかったが、以前購入していた福祉機器の利用及び安全な支援のための効果的な福祉機器の検討を行い、職員に係る業務負担の軽減を図った。

③ 安定した自立経営の継続

- ・短期入所等は新設3年目で新たに、個室であることを特色として関係機関へPRを行った。また、長期で短期入所を利用するケースがあり、収入増の要因となった。光熱水費については、使用量管理や設備状況の見直し等を行いながら経費削減を図った。

④ 地域貢献

- ・「特殊浴体験」を地域貢献活動として予定し、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ開催を進めたが、利用してもらうことは出来なかった。今後の対策としてコロナ禍であっても実施できる活動の検討を行った。

利用状況（障がい施設）

1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R3. 3. 31		R4. 3. 31		R3. 4～R4. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	40	39	40	39	13,951	38.2
生活介護	40	40	40	42	10,895	30.0
短期入所	2	21	2	20	608	1.8

種 別	R3. 4～R4. 3延件数
日中一時支援	0

2. 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

（1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	13	5	7	25
女	0	0	0	1	1	7	5	14
計	0	0	0	1	14	12	12	39

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	3	3	2	6	8	3	0	25
女	0	1	3	5	5	0	0	14
計	3	4	5	11	13	3	0	39

秋田県点字図書館

① 貸出数減少要因の調査、分析

- ・令和年3度末の個人登録者数は708名で増減なしであった。
- ・貸出は、前年度比で点訳図書は384タイトルで7%減、デージー図書は7,283タイトルと1.8%増、音訳図書は96タイトルと43%減であった。
- ・定期刊行物は48タイトルを延べ10,028人に提供した。
- ・点訳図書については、利用者の高齢化による身体機能低下により、指先で点字が読めない方が増えてきているための減少と思われる。
- ・音訳図書の数字の変化は、デージー図書への移行が進んできている傾向と思われる。

② スムーズな図書供給のための奉仕員の養成

- ・当館登録奉仕員は、点訳101名、音訳64名、音声校正8名、デージー編集11名、テキスト化13名、作業14名の計211名。
- ・今年度は点訳及び音訳奉仕員養成講座を実施し14名が修了した。また前年度修了者9名に対し、修了後の指導助言を行い育成に努めた。
- ・製作は、前年度比で点訳図書は167タイトルで15%減、デージー図書は111タイトルで5%増、テキストデージーは40タイトルで8%増であった。
- ・点訳及び音訳奉仕員にパソコンと編集ソフト等を貸出し、蔵書等の製作活動を積極的、継続的にできる活動環境を整えるよう努めた。また、令和3年度テキストデージー編集者を養成した。

③ 点字図書館のPR及び当事者団体及び関係機関との連携

- ・小学生の点字学習（9校・対象477名）へ延28名の奉仕員を派遣した。
- ・中学生の職場体験（2校）を受け入れ行った。
- ・県内ボランティアグループの勉強会への講師派遣や技術指導等の依頼に協力した。
- ・館主催のイベントの「プチッと点字体験」（2件）、共催事業の「まなびピア2021 in 大館」を実施したが、自主事業1件、協催事業2件をコロナウイルス感染症の感染拡大、感染予防のため中止した。
- ・館主催の「夏休み点字図書館探検」は小学生31名、大人29名が参加し、児童の総合学習と県民への啓発をすることができた。
- ・県条例の推進で「小中学生向け障害理解教室」（点字学習）を小学校（2校）で行った。
- ・秋田県発行の「障害者差別解消ハンドブック（一般向け・小学生向け）」の点字本と録音CDの製作の協力を行った。
- ・「秋田県版スマートサイト推進委員会」、「秋田県図書館等連絡会」等へ参画する機会を利用して当館の情報提供を行った。
- ・施設機能の提供と点字等普及啓発活動については、1市2町より要請の有った「ワクチン接種券在中」の点字シールを製作し、発送する。（県障害福祉課の普及活動に協力）

利用状況(点字図書館)

1. 図書受入状況

令和3年4月～令和4年3月

区分	点字図書		テープ録音図書		デージー図書		テキストデージー		合計		タイトル 構成比
	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	
厚生省委託	25	62	0	0	55	55	0	0	80	117	19.61%
自館制作	167	533	0	0	111	111	40	40	318	684	77.94%
複製	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
購入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
寄贈	0	0	0	0	10	10	0	0	10	10	2.45%
計	192	595	0	0	176	176	40	40	408	811	100.00%

2. 分類別貸出状況

区分	点字図書 (含、FD)		録音図書 (テープ)		音声デージー (CD)		テキストデージー (CD)		合計		タイトル 構成比
	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	
0 総記	1	4	0	0	19	19	0	0	20	20	0.26%
1 哲学	14	46	1	11	111	111	0	0	126	168	1.60%
2 歴史	14	57	1	7	103	103	0	0	118	167	1.50%
3 社会科学	11	35	7	52	171	174	0	0	189	161	2.40%
4 自然科学	9	31	5	34	121	121	0	0	135	186	1.70%
5 技術	5	16	0	0	20	20	0	0	25	36	0.30%
6 産業	3	10	1	5	24	24	0	0	28	39	0.40%
7 芸術	14	43	1	6	77	77	0	0	92	126	1.19%
8 言語	1	3	0	0	8	8	0	0	9	11	0.10%
9 文学	312	1,245	80	631	6,629	6,646	0	0	7,021	8,522	90.40%
合計	384	1,490	96	746	7,283	7,303	0	0	7,763	9,539	100.0%

秋田県聴覚障害者支援センター

① 事業運営体制の構築

・運営開始から2年を経過し、基本的な動きを理解することで、スムーズな運営を行うことが出来るようになりつつある。しかし、新型コロナウイルス感染の終息が見えない状況等もあり、活動が制限されることが多く、本来の運営体制での活動は難しい状況であった。

② 各種事業の円滑な実施

・手話通訳者養成研修会Ⅰは秋田市で10名、手話通訳者養成研修会Ⅱは大館市で4名、手話通訳者養成研修会Ⅲは由利本荘市を会場に9名がそれぞれ受講し全員が修了した。

12月4日には手話通訳者全国統一試験を実施し、14名が受験。1名が合格となった。

・要約筆記者養成講座に関しては、今年度はパソコンでの養成講座を9名で実施し、8名が修了した。1月には要約筆記者認定試験受験対策講座を開催し、2月20日には、要約筆記者認定試験を実施した。パソコン19名、手書き9名、それぞれに重複3名が受験。パソコン5名、手書き3名が合格となった。

・盲ろう者向け通訳・介助員養成研修は、新型コロナウイルス感染の影響で昨年度は実施を見送ったので、初めての開催となったが、9名の受講生を対象として実施し9名全員が修了した。特筆すべきは3名の当事者の方が講師を引き受けていただいたことであり、当事者の方から研修講師を担当してもらうことは継続して行いたいと考えている。

③ センター機能の強化

・利用される方々の利便性を考慮して、駅前での出張営業を検討したが、適切と思われる場所がなく、断念した。しかし、現在の場所は休日営業するには暖房や冷房が入らず、当事者の方にとっては不向きな5階という立地条件を考えれば、センター自体の場所を移転することを検討するべきかと思う。

・昨年度に引き続き、県ろうあ者相談員と手話通訳士が、県内8カ所を会場に巡回相談会を実施したが、相談に訪れる人は少なく、来年度からの実施について課題を残す結果となった。

④ 人材育成

・昨年に引き続きコロナ禍という状況で、他県の聴覚情報センターの運営についての視察研修を実施することが出来ず、インターネット、オンラインによる情報収集に努めた。新型コロナウイルス感染の状況を見ながら、来年度には東北地区を中心に、他県の聴覚情報提供施設の視察を実施し、より良い運営の足掛かりとしたい。

・意思疎通支援者登録試験（手話通訳者）受験資格取得者に対して、ボランティアとして活動していただくことで、意思疎通支援技術の向上と、次回の試験までのモチベーション維持を図ることを目的に、聴覚障害者支援センターの土曜日営業時の活動と呼び掛けた。結果、4名の方が同意されて、活動を開始した。

利用状況（聴覚障害者支援センター）

	令和3年度実績												令和2年度実績
	相談件数	相談種別			相談内訳								
		電話・FAX	来所	訪問等	施設	生活	福祉サービス	年金・手当	医療・保健	職業	補装具	その他	
4月	26	13	11	2	0	5	0	1	1	0	0	19	19
5月	11	0	9	2	0	9	0	0	0	0	0	2	16
6月	15	0	15	0	0	10	1	0	3	1	0	0	15
7月	17	0	13	4	0	15	0	0	1	0	0	1	14
8月	13	0	11	2	0	13	0	0	0	0	0	0	26
9月	6	0	6	0	0	5	0	0	0	1	0	0	20
10月	19	1	15	3	2	14	0	0	0	0	0	3	17
11月	13	0	12	1	2	11	0	0	0	0	0	0	23
12月	4	0	4	0	0	3	0	0	0	0	0	1	21
1月	12	0	12	0	0	9	0	0	0	0	0	3	20
2月	14	1	12	1	0	13	0	0	0	0	0	1	16
3月	22	0	21	1	0	19	0	0	0	0	0	3	20
合計	172	15	141	16	4	126	1	1	5	2	0	33	227

(相談件数：延人数)

年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	関係機関	不明	合計
年間件数	0	0	13	3	3	14	102	19	18	0	172

(男女年代：実人数)

年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	関係機関	不明	合計	
男女別	男性	0	0	4	1	1	3	25	13	1	0	48
	女性	0	0	4	2	1	9	25	1	14	0	56

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月	8	1	2	4	3	1	1	4	2	3	3	4	36
火	2	4	2	0	1	3	2	1	2	0	5	4	26
水	6	0	4	5	3	1	4	1	0	2	1	5	32
木	2	3	3	1	2	0	3	1	0	3	1	3	22
金	8	3	4	7	4	1	9	6	0	4	4	6	56
土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	26	11	15	17	13	6	19	13	4	12	14	22	172

Ⅲ. 公益的な取組

地域における公益的な取組

事務局

事業名	秋田たすけあいネットあゆむとの共同活動
事業概要	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人との共同活動を通じ、地域が真に求める福祉ニーズを法人の活動にフィードバックする。 <p><対象者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同活動であるためNPO法人のコンセプトに合わせた「助けを求める人」全てを対象とする。 <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に支援物資を母子生活支援施設等に運搬することや老人福祉総合エリアに設置したフードボックスによる食料品支援を中心に活動した。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、依頼内容や感染症の状況によっては、自粛する形となった。
年間事業内容	<p><支援物資の運搬・回収></p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね月1回を目標に、支援物資の運搬・回収のためマンパワーや車両の提供を行った。
関係機関や団体等との連携状況	<p><関係機関></p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人 秋田たすけあいネットあゆむ <p><連絡調整></p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人とは、令和3年度の活動事業について適宜打ち合わせを行いながら連絡調整を行った。
決算額・内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人への人的支援に係る人件費、車両費
事業担当職員	経営管理課 古関 孝順
事業の評価とまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に引き続き、令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の影響により、活動自粛する期間もあったが、状況を見ながら物資運搬等の作業を6回実施した。また、老人福祉総合エリアに設置したフードボックスに寄附されたレトルト食材、米、ジュース等延べ28品目以上を納品し貢献した。

地域における公益的な取組

施設名（ 高清水園 ）

事業名	地域生活サービス利用者交流事業															
事業概要	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の現在、三密を避けながら、地域における公益的な活動の一環として、屋外でクリーンアップ活動を行う。活動を通して施設の近隣住民と交流と地域への貢献を図り、相互に理解を深めることを目的とする。 <p><対象者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高清水園利用関係者、地域住民（近隣の町内会）、ボランティア他 <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・春と秋の2回に分けて、グループホームがお世話になっている町内の道路脇や歩道でゴミ拾いや草取り、落ち葉清掃などを行う。 															
年間事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目が令和3年6月6日（日）、2回目は令和3年10月23日（土）の2回を予定していたが、新型コロナウイルス感染状況及び降雨による天候不順から中止とした。 															
関係機関や団体等との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施前に広面町内会長にクリーンアップ活動開催の打診をしたところ快諾を得た。あいにく活動予定日は、町内会として除草作業にあたるため協力はできないが気を付けて取り組んでほしいと話があった。 ・ホームページで告知し、該当する町内会に回覧文にて協力を呼び掛ける予定であったが、事業実施を中止と判断したため広報しなかった。 															
決算額・内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">予算額</td> <td style="width: 20%;">107,600円</td> <td style="width: 20%;">収入</td> <td style="width: 20%;">0円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>支出</td> <td>0円</td> <td>※開催実績なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>差引</td> <td>0円</td> <td></td> </tr> </table>	予算額	107,600円	収入	0円				支出	0円	※開催実績なし			差引	0円	
予算額	107,600円	収入	0円													
		支出	0円	※開催実績なし												
		差引	0円													
事業担当職員	支援課 佐藤 誠															
事業の評価とまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目の計画においては、サポートセンター周辺の秋田市立城東中学校、東小学校に通う児童、生徒家族から新型コロナウイルス感染症罹患者が確認され、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し事業を中止した。 ・2回目は、台風の影響から活動当日まで降雨があり実施を断念した。 ・来年度は、地域への貢献に重きを置きつつ、情勢を見極めて交流の機会としたい。 															

地域における公益的な取組

施設名（ 秋田県心身障害者コロニー ）

事業名	ふれあい交流事業				
事業概要	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「障がい児・者ふれあい交流事業」 地域で生活する障害のあるかたや引きこもりの方々が余暇時間を有効に活用し、関りを深めながら、地域社会の中で安心して生活できる環境を作れるよう交流事業を推進していく。 <p><対象者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・由利本荘市、にかほ市在住の地域の中で障がいをお持ちの方、その家族の方々。 ※コロナ禍の為、過去2年に参加実績のある方のみを対象（15家族）とした。 <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であり、由利本荘・にかほ圏域に在住する障がいを有する方や引きこもりの方またその家族で、過去2年間に参加実績のあった15家族に限定して交流会の案内を送付した。毎月1回の実施計画を立てたが、コロナの感染状況を鑑み、外部講師を招いたジャズダンスや調理教室、ボウリング等の交流会は中止することになった。交流会の開催が少ないことから、今年初の試みとして、感染症の流行期に交流会の実施を控えたこともあり、年賀状の送付をしたことで交流の意図が切れないように努めた。 ・年2回（4月、10月）西目町内に地域交流場として開設しているコロニー生産直売所「歩人」をメインに、施設で制作した商品を即売するイベントを開催し、施設利用者と地域住民の交流を図った。 				
年間事業内容	月	実施内容	講師	会場	参加人数
	4月	歩人即売イベント	-	歩人	169名
	5月	ミュージックセラピー	有	鶴舞会館	中止
	6月	ガーデニング教室	職員(就B)	コロニーホール	8名
	7月	由利高原鉄道体験乗車	-	由利高原鉄道体験	中止
	8月	ミュージックセラピー	有	鶴舞会館	延期
	9月	コロニー祭 50周年記念イベント（講演会）	-	コロニー 西目公民館	延期
	10月	歩人即売イベント	-	歩人	108名
	11月	ふれあい交流会作品展示	-	コロニーホール	0名
	11月	ミュージックセラピー	有	鶴舞会館	8名
	12月	手芸教室(クリスマス飾り作り)	-	ハーブワールド	6名
	1月	調理教室（バレンタイン向け）	職員(栄養士)	鶴舞会館	中止
	1月	年賀状発送			15名
	2月	ボウリング	-	はまなすファミリーボ	中止
	3月	ジャズダンス	有	鶴舞会館 講堂	中止
	※原則として第3か第4土曜日の開催とする。連休は避ける				延べ314名

関係機関や団体等との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 由利本荘市社会福祉協議会 情報提供及びひきこもり協力員の派遣依頼 ○ 由利本荘市基幹相談支援センター 情報提供及び相談員派遣依頼 ○ 就業・生活支援センター 情報提供及び相談員派遣依頼 ○ 由利本荘市、にかほ市 情報提供 (広報誌掲載依頼) 																														
決算額・内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">(別紙予算内訳参照)</td> <td style="text-align: right;">予算額</td> </tr> <tr> <td>・ 歩人イベントチラシ代(年2回)</td> <td style="text-align: right;">12,094</td> </tr> <tr> <td>・ 歩人イベント駐車場代(年2回)</td> <td style="text-align: right;">11,000</td> </tr> <tr> <td>・ ガーデニング教室材料費</td> <td style="text-align: right;">8,239</td> </tr> <tr> <td>・ ミュージックセラピー講師料</td> <td style="text-align: right;">10,000</td> </tr> <tr> <td>・ ミュージックセラピー講師旅費</td> <td style="text-align: right;">4,144</td> </tr> <tr> <td>・ 手芸教室材料費</td> <td style="text-align: right;">9,000</td> </tr> <tr> <td>・ 飲料代</td> <td style="text-align: right;">4,082</td> </tr> <tr> <td>・ 参加者損害保険料</td> <td style="text-align: right;">2,200</td> </tr> <tr> <td>・ 切手、はがき代</td> <td style="text-align: right;">7,245</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">68,004</td> </tr> </table>	(別紙予算内訳参照)	予算額	・ 歩人イベントチラシ代(年2回)	12,094	・ 歩人イベント駐車場代(年2回)	11,000	・ ガーデニング教室材料費	8,239	・ ミュージックセラピー講師料	10,000	・ ミュージックセラピー講師旅費	4,144	・ 手芸教室材料費	9,000	・ 飲料代	4,082	・ 参加者損害保険料	2,200	・ 切手、はがき代	7,245	計	68,004								
(別紙予算内訳参照)	予算額																														
・ 歩人イベントチラシ代(年2回)	12,094																														
・ 歩人イベント駐車場代(年2回)	11,000																														
・ ガーデニング教室材料費	8,239																														
・ ミュージックセラピー講師料	10,000																														
・ ミュージックセラピー講師旅費	4,144																														
・ 手芸教室材料費	9,000																														
・ 飲料代	4,082																														
・ 参加者損害保険料	2,200																														
・ 切手、はがき代	7,245																														
計	68,004																														
事業担当職員	<p><地域貢献活動委員></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">委員長</td> <td colspan="4">小野崎 和司</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td colspan="4">鈴屋 和基</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>伊藤 香子</td> <td>細井まどか</td> <td>野口 幸恵</td> <td>富樫 紘</td> </tr> <tr> <td></td> <td>神保 明</td> <td>金澤 勇介</td> <td>佐藤みどり</td> <td>佐藤 綾香</td> </tr> <tr> <td></td> <td>渡部 尚</td> <td>栗沢 祥太</td> <td>佐藤奈桜子</td> <td>佐藤 誠子</td> </tr> <tr> <td>アドバイザー</td> <td colspan="4">大塚 聡</td> </tr> </table>	委員長	小野崎 和司				副委員長	鈴屋 和基				委員	伊藤 香子	細井まどか	野口 幸恵	富樫 紘		神保 明	金澤 勇介	佐藤みどり	佐藤 綾香		渡部 尚	栗沢 祥太	佐藤奈桜子	佐藤 誠子	アドバイザー	大塚 聡			
委員長	小野崎 和司																														
副委員長	鈴屋 和基																														
委員	伊藤 香子	細井まどか	野口 幸恵	富樫 紘																											
	神保 明	金澤 勇介	佐藤みどり	佐藤 綾香																											
	渡部 尚	栗沢 祥太	佐藤奈桜子	佐藤 誠子																											
アドバイザー	大塚 聡																														
事業の評価とまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で生活する障がいのある方を対象とし、定期的開催する計画を策定したが、コロナ禍によりイベントの延期や中止となることが多かった。 ・ 各種教室等のイベント開催の案内については、市の広報紙への案内掲示依頼等の募集を行わず、過去2年間に参加実績のあった15家族に対する郵送案内と、基幹相談支援センターへのポスター掲示に留めている。 ・ 多数の地域住民や地域障害者の参加が見込めるコロニー就労支援B型事業と連携した生産物即売会については年2回予定とおりに開催することができた。昨年度の課題として、近隣店舗より無断駐車についての、案内掲示方法や誘導員の増員等を行ったことで、今年度はスムーズに開催することができた。 ・ コロナ禍により、イベント案内を過去の参加者に限定して送付していたが、案内送付対象外の方から開催を楽しみにしているイベントについてお知らせがなかったという苦情があった(苦情受付、対応済み)。今後の開催について、案内対象者または案内方法について検討していく必要がある。 																														

地域における公益的な取組

施設名（ 秋田県心身障害者コロニー ）

事業名	職場体験学習受入れ事業																													
事業概要	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が直接働く人と接することにより、また、実際的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感してもらえ、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意思、意欲など培う教育活動の場を提供。 <ul style="list-style-type: none"> 中学校訪問 鳥海中学校の生徒を対象に、障がいや福祉への関心・理解を深めることを目的に出前講座を実施する。中学生という多感な時期に、障がいについての正しい理解や興味を持ってもらうことで、思いやりや共に支え合う気持ちを育む。職業意識が芽生える大事な時期でもあり、将来の福祉人材の確保にも繋げていく。 <p><対象者></p> <ul style="list-style-type: none"> 由利本荘市、にかほ市の中学生・高校生 県立大学・看護学校・秋田大学・公立美術大学等の学生 <ul style="list-style-type: none"> 鳥海中学校 <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 由利本荘市及びにかほ市の中・高校生を対象に職場体験学習の機会を提供し、介護等の体験や施設利用者とのふれあうことで、その体験を通して障がいの理解と関心の増進を図る。 出前講座の内容については、中学校の授業の一環である「総合学習」等の一コマで、「障がいや福祉」「福祉施設の仕事」について、講義やグループワークを通して障がいや福祉の理解と関心の増進を図る。 																													
年間事業内容	・コロナ禍により中止																													
事業担当職員	<p><地域貢献活動委員></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">委員長</td> <td style="width: 25%;">小野崎和司</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>鈴屋 和基</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">委員</td> <td>伊藤 香子</td> <td>細井まどか</td> <td>野口 幸恵</td> <td>富樫 紘</td> </tr> <tr> <td>神保 明</td> <td>金澤 勇介</td> <td>佐藤みどり</td> <td>佐藤 綾香</td> </tr> <tr> <td></td> <td>渡部 尚</td> <td>栗沢 祥太</td> <td>佐藤奈桜子</td> <td>佐藤 誠子</td> </tr> <tr> <td>アドバイザー</td> <td>大塚 聡</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	委員長	小野崎和司				副委員長	鈴屋 和基				委員	伊藤 香子	細井まどか	野口 幸恵	富樫 紘	神保 明	金澤 勇介	佐藤みどり	佐藤 綾香		渡部 尚	栗沢 祥太	佐藤奈桜子	佐藤 誠子	アドバイザー	大塚 聡			
委員長	小野崎和司																													
副委員長	鈴屋 和基																													
委員	伊藤 香子	細井まどか	野口 幸恵	富樫 紘																										
	神保 明	金澤 勇介	佐藤みどり	佐藤 綾香																										
	渡部 尚	栗沢 祥太	佐藤奈桜子	佐藤 誠子																										
アドバイザー	大塚 聡																													
事業の評価とまとめ	・地域の対象校17校（中学、高校、専門校、大学）には中止の旨の連絡を行った。																													

地域における公益的な取組

施設名（ 由利本荘地域生活支援センター ）

事業名	発達障がい（自閉症スペクトラム・ADHD等）のある児童への支援方法についての研修会
事業概要	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい（自閉症スペクトラム・ADHD等）のある児童等に対しての支援方法について理解を深める。 <p><対象者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい（自閉症スペクトラム・ADHD等）のある児童の家族や地域の保育士、幼稚園教諭等 <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師によるペアレントトレーニングに関する講座とグループワーク 等
年間事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、予定していた講座等は実施できなかった。代替として、ペアレントトレーニングへの理解を深めるためのパンフレットを作成し、配布を行った。
関係機関や団体等との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・医療療育センター等を通じて講師を依頼する予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止した。
決算額・内訳	<p>パンフレット作成 コピー代（カラー両面印刷 100部） (@ 15.4円×両面×100部) =3,080円</p>
事業担当職員	管理支援課 野荒 博幸
事業の評価とまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保護者等を対象にペアレントトレーニングに関する講座を行う予定であったが、新型コロナウイルス影響により中止とした。代替として、ペアレントトレーニングについて周知するパンフレットを作成し、来所した保護者等に配布している。

地域における公益的な取組

施設名（ 阿桜園 ）

事業名	地域生活交流活動事業												
事業概要	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民（余暇活動への支援が必要な障がい児者、ひきこもり状態にある方等を主な対象者とする。）に対して、陶芸や調理その他の活動の場を提供し生活の質及び社会生活力の向上を図る。 <p><対象者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・余暇活動支援 地域の余暇活動への支援が必要な障害児者、ひきこもり状態にある方等 <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿桜園の陶芸室及び付属設備を提供するとともに講師を依頼して作品の制作活動を行う。 ・映画鑑賞会を開催する。 ・調理体験及び交流会を行う。 												
年間事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年5月30日(日)「陶芸教室」 5名参加 ・令和3年6月27日(日) 感染症拡大防止のため中止 ・令和3年7月25日(日)「陶芸教室」 6名参加 ・令和3年8月29日(日)「陶芸教室」 6名参加 ・令和3年9月26日(日)「映画鑑賞会」 5名参加 ※感染症拡大防止のため「園外活動」から変更する。 ・令和3年11月28日(日)「調理教室」 4名参加 ※感染症拡大防止のため活動場所を外部施設から園内へ変更する。 ・令和3年12月26日(日)「陶芸教室」 6名参加 ・令和4年2月27日(日) 感染症拡大防止のため中止 <p>※年度末に参加者へのアンケートを実施。 活動の様子を収めた写真を記念品として進呈する。</p>												
関係機関や団体等との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・余暇活動支援について、関係機関、事業所へ情報交換を行った。 ・相談支援事業所を利用している方（外部との交流が少ない方）に情報提供を行い参加を募った。 ・次年度の余暇活動支援について関係機関やボランティア団体と情報共有を図り講師の依頼や活動への協力をお願いする。 												
決算額・内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">・講師謝礼</td> <td style="width: 50%;">10,000円×4回=40,000円（陶芸）</td> </tr> <tr> <td>・送迎車運転者賃金</td> <td>1,125円×12時間=13,500円</td> </tr> <tr> <td>・傷害保険料</td> <td>12,500円</td> </tr> <tr> <td>・各材料費</td> <td>14,202円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right; padding-top: 10px;">合 計</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">80,202円</td> </tr> </table>	・講師謝礼	10,000円×4回=40,000円（陶芸）	・送迎車運転者賃金	1,125円×12時間=13,500円	・傷害保険料	12,500円	・各材料費	14,202円	合 計		80,202円	
・講師謝礼	10,000円×4回=40,000円（陶芸）												
・送迎車運転者賃金	1,125円×12時間=13,500円												
・傷害保険料	12,500円												
・各材料費	14,202円												
合 計													
80,202円													
事業担当職員	<p>支援課 伊藤 真 管理課 田賀糸 修</p>												
事業の評価とまとめ	<p>・今年度は感染症の状況に注視するほか、参加者の体調確認、活動の中止、又は開催場所の変更等の感染拡大防止対策を行った。陶芸教室を4回、調理教室、映画鑑賞会を実施することができ、活動を心待ちにしていた参加者、ご家族が安心して参加できる環境を提供することにより楽しく過ごしていただくことができた。今後も活動内容や日数について検討を重ねコロナ禍のなかでもより楽しんでいただける活動を提供できるようにしたい。</p>												

地域における公益的な取組

施設名（ やまばと園 ）

事業名	交流サロン ホップ！								
事業概要	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休日の余暇時間に、様々な体験の場を提供することで余暇活動の充実を図り自ら余暇を楽しむことができるように支援する。 ・ 人と人を繋ぎ、友達づくり・仲間づくりの機会を提供をする。 <p><対象者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知的障がいを持つ方。 ・ 生きづらさを抱えている方。 ・ 家族以外の人との交流がほとんどなく、自宅に多い方。 <p>いずれも湯沢雄勝地域に在住する方を対象とする。 各回10名程の参加者を予定。</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日：6月、8月、10月、12月、2月のいずれかの土日 ・ 開催時間：10：00～15：00（活動内容による） ・ 場所：湯沢雄勝広域交流センター 他 活動内容により変更あり。 ・ 送迎：可能な範囲で実施。 								
年間事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年6月26日～グランドゴルフ（参加者6名） ・ 令和3年10月23日～紅葉狩り（参加者5名） ・ 令和3年12月11日～稲庭うどん作り体験（参加者6名） 								
関係機関や団体等との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湯沢市社会福祉協議会及び湯沢雄勝圏域内の相談支援事業所（8カ所）、湯沢市基幹相談支援センターにチラシを配布。その他、稲川地区民生児童委員協議会定例会にて開催について周知。 								
決算額・内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">傷害保険料</td> <td style="text-align: right;">5,500円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">茶菓子代</td> <td style="text-align: right;">5,532円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">参加費</td> <td style="text-align: right;">10,800円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px; border-top: 1px solid black;">合 計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">21,832円</td> </tr> </table>	傷害保険料	5,500円	茶菓子代	5,532円	参加費	10,800円	合 計	21,832円
傷害保険料	5,500円								
茶菓子代	5,532円								
参加費	10,800円								
合 計	21,832円								
事業担当職員	支援課 佐野 智子 阿部 和広 高橋 尚吾 木村 凌介 高橋ルリ子 佐藤 正英								
事業の評価とまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当初の計画では年5回の開催としていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により予定していた8月と2月の開催分を中止とした。 ・ 前年度の反省を踏まえ、地域で生活する方々の休日の余暇活動の充実を目的に加えて活動を行ってきた。参加者はGHを含めた地域で生活する方々で、毎回5～6名の参加があった。 ・ 感想としては概ね好評であり、目的に沿った活動ができたものと思われる。 ・ 感染症の影響を受けにくい活動内容を検討し、休日の活動として地域に定着するよう次年度以降も継続して実施していきたい。 								

地域における公益的な取組

施設名（ 障害者支援センター御所野 ）

事業名	特殊浴体験
事業概要	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で生活している方で、自宅での入浴が困難な方や自力での入浴が困難な方に安心して入浴できる場を提供し、特殊浴の体験をしてもらう。 <p><対象者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害児・者、高齢者、他体験希望者。 <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年4回(春、夏、秋、冬)ミスト浴の体験とする。 ・時間を10:00～16:00までとし、一日5名を限度とする。 ・体験希望者の送迎は家族とする。 ・体験前に直近2週間の行動歴を確認し、体調確認を行う。 ・機械操作と見守りの為職員2名を配置するが、基本は家族の方が洗身する。 ・入浴後に簡単なアンケートに応じてもらう。
年間事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開催前にホームページや広報に掲載し情報を提供する。 ・申込用紙(簡単なADLチェック用)とアンケート用紙を作成(入浴後記入)する。 ・実施2週間前に締め切り名簿を作成する。 ・当日対応する職員が希望者のADL状況等を確認する。 ・活動後に委員会を開催し、改善すべき事等をあげ次回に繋げる。
関係機関や団体等との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田市社会福祉協議会、相談支援事業所、近隣包括支援センター、放課後等デイサービス、支援学校等に情報を提供する。 ・必要時協議する。
決算額・内訳	未実施の為 0円
事業担当職員	村山 紀枝 支援課 鈴屋 理絵子 高瀬 良平 堀 聖子
事業の評価とまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、在宅で生活している重症心身障がいを持つ方々へ相談支援事業所を通じて広報し、開催予定であったが感染者数の急増に開催ができなかった。入浴ニーズはあるため、公益的な取組として継続するが、コロナ禍であっても実施できる活動を検討した。

地域における公益的な取組

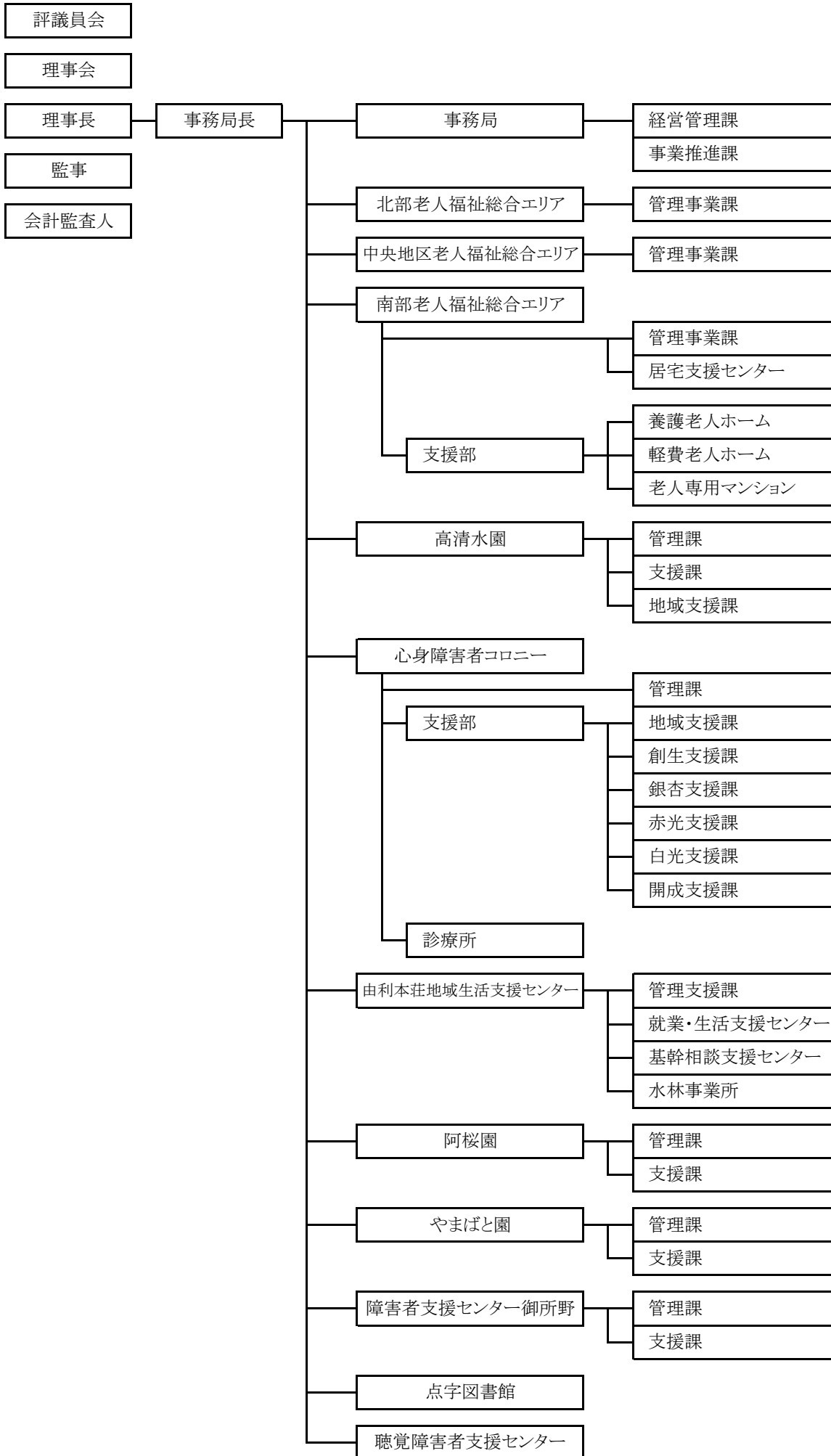
施設名（ 秋田県点字図書館 ）

事業名	プチッと点字体験
事業概要	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「秋田県手話言語、点字等の普及等による円滑な意思疎通の促進に関する条例」、「秋田県障害者差別解消条例」に鑑み、点字を知る晴眼者を増やし、視覚障がい者とのコミュニケーションや支援することができる県民を増やすことを目的に当館で可能な活動を実施 <p><対象者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民全般 <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・点字の学習と体験 <ol style="list-style-type: none"> ①点字五十音表を用いて点字の構成を学習 ②簡易点字器（凸面点字器）を使用し、点字テープに氏名、住所等を打ってボールペンやクリアファイルに貼る。 ③日常生活や身の回りで点字が表示されている物を知る。
年間事業内容	<p><夏休み点字図書館探検></p> <p>8月5日 小学生13名 大人 9名 8月6日 小学生 5名 大人 3名 8月7日 小学生13名 大人13名</p> <p><点字体験学習受入></p> <p>9月15日 下北手小学校4年生 10名 11月26・29日 土崎南小学校4年 計43名</p> <p><プチッと点字体験></p> <p>1月19・24日 秋田中央高校3年生 計70名</p>
関係機関や団体等との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田県障害福祉課 ・秋田県視覚障害者福祉協会 ・秋田県障害者社会参加推進センター ・県内各市町村 ・法人内事業所等
決算額・内訳	【支出】0円
事業担当職員	岩田 陽子
事業の評価とまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大予防対策に努めながら、館内では「夏休み点字図書館体験」、「小学校の点字体験学習の受入」を開催した。

【 資 料 】

1. 組織

令和4年3月31日現在



2. 施設の概要

令和4年3月31日現在

種別	施設名	所在地	主なサービス	定員	備考	
老人福祉総合エリア	秋田県北部老人福祉総合エリア	大館市	コミュニティーセンター		指定管理	
	秋田県中央地区老人福祉総合エリア	秋田市	コミュニティーセンター		指定管理	
	秋田県南部老人福祉総合エリア	横手市	コミュニティーセンター			指定管理
			養護老人ホーム	50		
			軽費老人ホーム（特定含）	50		
			老人専用マンション	24	指定管理	
			居宅支援センター			
生きがい創作館		指定管理				
障害児者支援施設	高清水園	秋田市	施設入所支援事業	88		
			生活介護事業	92		
			放課後等デイサービス	10		
			グループホーム（5カ所）	24		
	秋田県心身障害者コロニー	由利本荘市	施設入所事業	340		
			生活介護事業	350		
			就労継続支援事業B型	60		
			グループホーム（9カ所）	45		
			診療所			
	由利本荘地域生活支援センター	由利本荘市	生活介護事業	20		
			児童発達支援事業	10		
			放課後等デイサービス			
			放課後等デイサービス	10		
			グループホーム（12カ所）	58		
	阿桜園	横手市	施設入所支援事業	110		
			生活介護事業	120		
			福祉型障害児入所施設	5		
			児童発達支援事業	5		
			放課後等デイサービス（重心）			
			放課後等デイサービス	10		
			グループホーム（2カ所）	10		
	湯沢雄勝広域市町村圏組合やまばと園	湯沢市	施設入所支援事業	60	指定管理	
			生活介護事業	50		
就労継続支援事業B型			10			
放課後等デイサービス			10			
グループホーム（1カ所）			5			
障害者支援センター御所野	秋田市	施設入所支援事業	40			
		生活介護事業	40			
視聴覚障害者情報提供施設	秋田県点字図書館	秋田市	視覚障がい者への情報提供		指定管理	
	秋田県聴覚障害者支援センター	秋田市	聴覚障がい者への情報提供		県受託	

3. 施設のサービス利用状況

利用者は各年度3月31日現在の契約者数 件数は年間の延べ件数

障害者

1 介護給付

施設名	施設入所				生活介護				短期入所			
	定員		利用者		定員		利用者		定員		利用者	
	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3
高清水園	88	88	83	84	92	92	92	92	8	8	40	5
心身障害者コロニー	360	340	330	324	400	350	314	308	5	5	6	8
由利本荘支援センター	—	—	—	—	30	20	38	39	—	—	—	—
阿桜園	110	100	97	97	120	110	103	117	4	4	1	1
やまばと園	60	60	59	60	50	50	65	68	8	8	3	4
支援センター御所野	40	40	39	39	40	40	40	42	2	2	21	20
合計	658	628	608	604	732	662	652	666	27	27	71	38

2 就労継続支援

施設名	就労継続支援B型			
	定員		利用者	
	R 2	R 3	R 2	R 3
心身障害者コロニー	70	60	54	54
由利本荘支援センター	20	0	13	0
やまばと園	10	10	11	10

3 地域生活支援

施設名	日中一時支援				日中一時支援（放課後型）				障害児等療育支援			
	定員		利用件数		定員		利用件数		定員		利用件数	
	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3
高清水園	8	8	54	11	10	10	0	0	—	—	—	—
心身障害者コロニー	5	5	65	94	—	—	—	—	—	—	—	—
由利本荘支援センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	31
阿桜園	4	4	197	349	—	—	—	—	16	16	414	284
やまばと園	8	8	30	27	—	—	—	—	12	12	173	210
支援センター御所野	2	2	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—

4 相談支援

施設名	相談件数	
	R 2	R 3
高清水園	820	858
由利本荘支援センター	1,713	1,826
阿桜園	488	691
やまばと園	401	416

5 居住支援（共同生活援助）

施設名	ホーム名	グループホーム				サテライト型利用			
		定員		利用者		定員		利用者	
		R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3
高清水園 5カ所	結	5	5	5	5	1	1	1	1
	みのり	5	5	5	5	1	1	1	1
	さくら	5	5	5	5	1	1	1	1
	あおぞら	5	5	5	5	1	2	1	2
	こまち	6	4	5	4	—	1	—	1
心身障害者コロニー 9カ所	わかまつ	6	6	5	6	—	0	—	0
	やすらぎ	6	6	6	6	—	0	—	0
	そよかぜ	4	4	4	4	—	0	—	0
	はまなす	4	4	4	4	—	0	—	0
	まつかぜ	6	6	6	6	—	0	—	0
	しおさい	5	5	5	5	—	0	—	0
	なでしこA	5	5	5	5	—	0	—	0
	なでしこB	4	4	4	4	—	0	—	0
	かもめ	5	5	5	5	—	0	—	0
由利本荘支援セン ター 12カ所	御門A	5	5	5	5	0	0	0	0
	御門B	5	6	5	6	1	1	1	1
	清和A	5	5	5	4	0	0	0	0
	清和B	6	5	6	5	0	0	0	0
	朋A	4	5	4	3	0	0	0	0
	朋B	5	5	5	4	0	0	0	0
	めぐみ	6	6	6	6	0	0	0	0
	菖蒲	6	6	6	6	0	0	0	0
	若菜	6	5	6	5	1	0	1	0
	三愛A	5	0	5	0	1	0	0	0
	三愛B	5	5	5	5	0	0	0	0
	虹	5	5	5	4	0	0	0	0
阿桜園	希望 I・II	10	10	9	10	—	0	—	0
やまばと園	ぼってりー	5	5	4	4	—	0	—	0
合計	28カ所	149	142	145	136	7	7	6	7

障害児

施設名	施設入所支援				放課後等デイサービス・児童発達支援				重症心身放課後等デイサービス等			
	定員		利用者		定員		利用者		定員		利用者	
	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3
高清水園	—	—	—	—	10	10	21	23	—	—	—	—
由利本荘支援センター	—	—	—	—	20	20	52	59	—	—	—	—
阿桜園	5	5	5	5	10	20	17	24	5	0	6	0
やまばと園	—	—	—	—	10	10	22	25	—	—	—	—

高齢者

施設名	養護老人ホーム				軽費老人ホーム				老人専用マンション			
	定員		利用者		定員		利用者		定員		利用者	
	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3	R 2	R 3
南部老人福祉エリア	50	50	49	46	50	50	47	45	24	24	4	5

4. 役員等

令和4年3月31日現在

(1) 評議員

氏名	役職名
島田 洋一	地方独立行政法人 秋田県立療育機構理事長
伊藤 英紀	社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会会長
田中 勉	公益社団法人 秋田県手をつなぐ育成会会長
白川 秀子	公益社団法人 秋田県看護協会会長
柴田 博	秋田看護福祉大学福祉学科教授
和田 士郎	一般社団法人 秋田県社会福祉士会会長
尾留川 等	社会福祉法人 つるまい福祉会 理事
秋山 尚子	社会福祉法人 秋田けやき会 理事長
神谷 長一	阿桜園保護者会会長

任期 令和3年6月25日 ～ 令和7年6月定時評議員会

(2) 理事

氏名	役職名
関根 浩一	前秋田県信用保証協会会長
柴田 一宏	柴田一宏法律事務所長
太田 春海	秋田県民生児童委員協議会会長
高橋 美岐子	日本赤十字秋田短期大学特任教授
佐藤 寿美	秋田県社会福祉協議会常務理事
古田 俊之	秋田県社会福祉事業団事務局長
加藤 敦	秋田県南部老人福祉総合エリア管理者
小野崎 和司	秋田県心身障害者コロニー管理者

任期 令和3年6月定時評議員会 ～ 令和5年6月定時評議員会

(3) 監事

氏名	役職名
田中 政博	元秋田市財務部長
戸嶋 正	元秋田県阿桜園長

任期 令和3年6月定時評議員会 ～ 令和5年6月定時評議員会

(4) 会計監査人

法人名	所在地
公認会計士河野隆治事務所	秋田市泉中央1丁目2番15号

任期 令和3年6月定時評議員会 ～ 令和4年6月定時評議員会

5. 会議等

(1) 評議員会

開催年月日	出席者数		決議・協議事項
	評議員	理事	
令和3年6月25日	7	1	1 令和2年度事業報告及び決算 2 役員(理事、監事)の選任 3 会計監査人の選任
令和4年3月22日			1 定款の一部変更(みなし決議)

(2) 理事会

開催年月日	出席者数		決議・協議事項
	理事	監事	
令和3年4月30日	6	2	1 理事長の選定
令和3年6月3日	7	2	1 令和2年度事業報告及び決算 2 評議員候補者の推薦 3 役員(理事・監事)の選任 4 会計監査人の選任及び報酬 5 評議員選任・解任委員会委員の選任 6 評議員選任・解任委員会運営規則等の一部改正 7 職員就業規則の一部改正 8 継続雇用職員就業規則の一部改正 9 有期契約職員就業規則の一部改正 10 無期契約職員就業規則の一部改正 11 定時評議員会の開催
令和3年6月25日	8	2	1 理事長の選定 2 職員就業規則の一部改正 3 継続雇用職員就業規則の一部改正 4 有期契約職員就業規則の一部改正 5 無期契約職員就業規則の一部改正 6 臨時的短期間雇用職員就業規則の一部改正
令和3年9月10日			1 有期契約職員就業規則の一部改正(みなし決議)
令和3年11月1日	8	2	1 令和3年度第1回補正予算 2 旅費規則の一部改正 3 会計規則の一部改正
令和4年2月28日			1 職員給与規則の一部改正(みなし決議) 2 有期契約職員就業規則の一部改正(みなし決議) 3 無期契約職員就業規則の一部改正(みなし決議)
令和4年3月16日	8	2	1 定款の一部変更 2 組織規則の一部改正 3 公印取扱規則の一部改正 4 職員就業規則の一部改正 5 職員の育児・介護休業等に関する規則の全部改正 6 職員給与規則の一部改正 7 継続雇用職員就業規則の一部改正 8 有期契約職員就業規則の一部改正 9 無期契約職員就業規則の一部改正 10 臨時的短期間雇用職員就業規則の一部改正 11 旅費規則の一部改正 12 会計規則の一部改正 13 令和3年度第2次補正予算 14 令和4年度事業計画

令和4年3月16日			15 令和5年度当初予算 16 施設長等の任命 17 役員賠償責任保険への加入 18 評議員会の開催(みなし決議) 19 令和4年度職員採用計画 20 正職員の定年延長
-----------	--	--	---

(3) 評議員選任・解任委員会

開催年月日	出席者数		決議・協議事項
	委員	理事	
令和3年6月25日	3	2	1 評議員の選任

(4) 施設長会議

開催年月日	内容
令和3年5月24日	1 令和2年度事業報告及び決算 2 評議員候補者の推薦 3 役員の選任 4 会計監査人の選任及び報酬 5 評議員選任・解任委員会委員の選任 6 評議員選任・解任委員会運営規則の一部改正 7 定時評議員会の開催 8 新型コロナウイルス感染症への対応 9 その他
令和3年7月8日	1 新型コロナウイルス感染症への対応 2 研修受講者の選定 3 各検討課題に係る作業チームの活動 4 その他
令和3年10月25日	1 令和3年度第1次補正予算 2 旅費規則の一部改正 3 会計規則の一部改正 4 評議員選任・解任委員会議事録 5 コロニーにおける身体拘束事案 6 中央エリアにおける転倒事故等 7 職員採用試験の状況 8 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の状況 9 新型コロナウイルス感染症への対応 10 情報システム検討課題 11 その他
令和3年12月23日	1 身体拘束事案 2 規則等の見直し 3 令和4年度当初予算編成 4 情報システム(グループウェア)の更新 5 障害者雇用
令和4年2月4日	1 規則等の改正 2 新たな処遇改選の取扱 3 第三者評価受審とまごころシステムの運用見直し 4 働き方改革の推進 5 令和4年度研修受講性の選定 6 人事評価制度 7 給食システムの更新 8 新型コロナウイルス感染症への対策

令和4年3月3日	1 令和3年度第2次補正予算 2 令和4年度事業計画 3 令和4年度当初予算編成 4 定款の一部変更 5 就業規則等取扱要綱等 6 令和4年度職員採用計画 7 職員提案 8 契約職員の配置等 9 職員の事務分掌 10 障害者雇用 11 新型コロナウイルス感染症対策 12 理事会議案等
----------	---

(5) 監事の監査

開催年月日	内 容
令和3年5月28日	令和2年度事業報告及び決算

(6) 会計監査人の監査

開催年月日	実施箇所	内 容
令和3年5月28日	事 務 局	令和2年度事業報告及び決算
令和3年11月9日 ～11月15日	各 施 設	各施設(会計拠点区分)の期末監査
令和4年1月17日 ～1月21日		各施設(会計拠点区分)の期中監査
令和4年3月17日	事 務 局	事務局の期中監査

6. 職員

1. 職員の配置状況

令和4年3月31日現在

区 分	正 職 員 (広 域 職 員)	正 職 員 (地 域 職 員)	継 続 雇 用	無 期 契 約	有 期 契 約	合 計
事 務 局	10	0	0	0	1	11
北 部 老 人 福 祉 総 合 エ リ ア	5	0	0	5	5	15
中 央 地 区 老 人 福 祉 総 合 エ リ ア	4	0	0	5	10	19
南 部 老 人 福 祉 総 合 エ リ ア	20	0	2	31	21	74
高 清 水 園	37	1	1	21	27	87
心 身 障 害 者 コ ロ ニ ー	118	0	10	88	56	272
由 利 本 荘 地 域 生 活 支 援 セ ン タ ー	14	0	5	13	38	70
阿 桜 園	41	2	4	32	36	115
や ま ば と 園	22	0	0	19	21	62
障 害 者 支 援 セ ン タ ー 御 所 野	18	1	1	1	5	26
点 字 図 書 館	1	0	1	3	3	8
聴 覚 障 害 者 支 援 セ ン タ ー	1	1	1	1	1	5
計	291	5	25	219	224	764

区 分	正 職 員 (広 域 職 員)	正 職 員 (地 域 職 員)	継 続 雇 用	無 期 契 約	有 期 契 約	合 計
施 設 長 等	13	0	1	0	0	14
課 長	18	0	0	0	0	18
事 務 員	33	0	2	27	22	84
支 援 員	183	5	16	136	136	476
保 健 師 ・ 看 護 師	19	0	1	3	7	30
栄 養 士	7	0	0	0	1	8
理 学 療 法 士	1	0	0	0	0	1
技 師	17	0	5	15	25	62
世 話 人	0	0	0	22	10	32
宿 直 専 門 員	0	0	0	13	18	31
そ の 他	0	0	0	3	5	8
計	291	5	25	219	224	764

2. 職員数の推移

令和4年3月31日現在

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成元年度	令和2年度	令和3年度
正 職 員	287	297	302	298	302	296
継 続 雇 用 職 員	13	16	16	21	25	25
無 期 契 約 職 員	—	—	—	180	201	219
有 期 契 約 職 員	456	449	437	261	237	224
計	756	762	755	760	765	764

3. 正職員の採用実績等

令和4年3月31日現在

職種	採用区分	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3	
福祉職	大学卒	広域職	8	2	6	4	6
		地域職				0	0
	短大卒	広域職	0	2	2	1	0
		地域職				0	0
	高校卒	広域職	4	4	0	2	2
		地域職				2	0
	職務経歴	広域職	11	5	6	2	0
		地域職				5	0
福祉職 計		23	13	14	16	8	
看護職	年度当初	0	2	3	1	0	
栄養士等		0	0	0	0	1	
技能職		0	0	0	0	0	
医師・看護職	年度中途	0	0	1	0	1	
栄養士等		1	0	0	0	0	
技能職		0	1	0	0	1	
専門職 計		1	3	4	1	3	
最近の採用実績 計		24	16	18	17	11	

職種	離職区分	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3
福祉職	定年退職	4	13	6	5	4
看護職		1	2	0	1	1
栄養士等		0	0	0	0	0
技師		0	0	3	4	2
定年退職 計		5	15	9	10	7
福祉職	早期退職 (年度末)	3	4	2	4	2
医師・看護職		0	0	0	0	0
栄養士等		0	0	0	1	1
技能職		0	1	0	1	0
福祉職	早期退職 (年度中途)	2	1	2	2	1
医師・看護職		0	0	0	0	0
栄養士等		0	0	0	0	0
技能職		0	2	0	0	0
早期退職 計		5	8	4	8	4
最近の離職者数 計		10	23	13	18	11

職種	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3
福祉職	246	251	247	253	251
医師・看護職	16	17	19	20	20
栄養士等	9	9	8	8	8
技能職	26	25	24	21	17
職員数 計	297	302	298	302	296

※栄養士等 栄養士、理学療法士、作業療法士

※各年度の集計人数は、年度末の定年退職者及び早期退職者（年度末）を含む。

7. 研修の実施状況

事務局

【法人研修】

〈階層別研修〉

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
4月21日～22日	新任職員研修	就業規則、事業概要等説明	I	9名
8月30日～31日	キャリアパス研修 指導者養成研修	各コースにおける指導方法について	IV	3名
10月26日、28日	中堅職員研修（特定処遇改善加算対象）	HQS推進システムの説明	II	30名

※【対象】 I：新任等職員 II：中堅職員 III：チームリーダー IV：管理職 以下同じ

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月8日	サビ管・児発管連絡会	サビ管業務の意見交換	III～IV	20名
6月25日	相談支援連絡会	報酬改定、意見交換	II～IV	17名
11月26日	GH世話人連絡会	栄養支援の取組		20名
12月17日	実践発表会	施設での取組事例報告	I～IV	106名

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
4月13日	虐待防止アンガーアマネジメント研修	怒りのメカニズムと対処方法	I～IV	34名

【事業所外研修】

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
7月29日	会計実務者オンライン会議	会計実務の基礎知識	I	1名
10月14～15日	障害者職業生活相談員資格認定講習	障害者職業瀬活相談員の職務等	III	1名
3月18日	高齢者福祉事業経営セミナー	高齢者福祉の動向	III	1名
3月28日	障害者福祉事業経営セミナー	障害者福祉の動向	III	1名

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
2月10日	北海道東北ブロック社会福祉事業団連絡協議会職員研修	職員の意識改革について	III	1名

秋田県北部老人福祉総合エリア

【事業所内研修】

〈特別研修〉

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月17日	北部エリア業務について	エリア運営に係る規定・条例の説明	I～IV	9名
8月19日	介護保険制度内服薬について	介護保険制度の仕組みと具体的な施設紹介	I～VI	10名
12月8日	接遇研修	ホテル業における接客の心得	I～IV	6名

【事業所外研修】

〈階層別研修〉

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月30日	安全運転管理者講習	交通事故発生状況、安管実務他	IV	1名

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
10月10日	説明力強化研修	短時間で、相手に分かりやすく説明するスキル	I	1名
10月18日	福祉保健施設・事業者等事務職員研修	事務職員としての接遇力向上	I	1名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
5月19日	整備管理者選任前研修	自動車の点検・整備や整備管理に関する業務	III	1名
7月14日	秋田県講師等養成研修	研修講師としての心構え	IV	1名
8月4～5日	甲種防災管理新規講習	事業所内での防災防火に関する役割	IV	1名

秋田県中央地区老人福祉総合エリア

【事業所内研修】

〈階層別研修〉

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
5月13日	新任職員研修	業務概要・使用規程他	I	2名
10月15日	新任職員研修	業務概要・使用規程他	I	1名
2月9日	新任職員研修	業務概要・使用規程他	I	1名

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
8月26日	屋内温水プール業務研修	プール安全運営、応急処置他	I～IV	8名
11月9日	グーグルビジネス活用セミナー	グーグルマイビジネス概要他	I・III	2名

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
5月14日	アンガーマネジメント研修（伝達）	アンガーマネジメントについて	I～Ⅲ	17名
12月3日	精神・発達障害者しごとサポーター養成講座	障害者雇用について他	I～Ⅳ	15名

【事業所外研修】

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
12月21日	普通救命講習	応急処置他	I	3名
12月13日	社会保険実務担当者講習会	年金の受給要件、労働保険他	Ⅲ	1名
3月10日	デジタルプロモーション活用セミナー	ターゲティング手法他	I・Ⅲ	2名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月30日	安全運転管理者講習	交通事故発生状況、安管実務他	Ⅳ	1名

秋田県南部老人福祉総合エリア

【事業所内研修】

〈階層別研修〉

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
4月15日	新任等職員研修	施設内の説明、概要について	I～Ⅳ	11名

〈特別研修〉

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
4月26、5月11、13、27日	アンガーマネジメント研修	感情コントロールについて	I～Ⅳ	24名
6月1、2、10日	利用者人権擁護、スピーチロック	人権擁護について	I～Ⅳ	63名
9月27、29日	虐待防止研修	ロールプレイ研修	I～Ⅳ	19名
12月24、27日	虐待防止研修	ロールプレイ研修	I～Ⅳ	35名
1月27日、2月3、8日	養護者による高齢者虐待・身体拘束廃止研修	研修受講者の伝達研修	I～Ⅳ	27名
3月3日	虐待防止研修	ロールプレイ研修	I～Ⅳ	9名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
7月14、21日	感染症対策研修	感染予防のスキルアップ	I～Ⅳ	34名
12月16日	救命講習会	救急救命	I～Ⅳ	10名

【事業所外研修】

〈階層別研修〉

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
7月20、21日	キャリアパス対応生涯研修(初任者)	初任者向け研修	I	1名
8月23～24日、10月21～22日	キャリアパス対応生涯研修(中堅職員)	中堅職員向け研修	II	2名
10月29日	中堅職員研修	業務のスキルアップ	II	1名
11月16、17日	キャリアパス対応生涯研修(チームリーダー)	リーダーのスキルアップ	III	1名
11月18、19日	キャリアパス対応生涯研修(管理職員)	マネージメント等	IV	1名

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
8月2～6日、8月29～9月2日	介護支援専門員再研修	専門員履修	I～IV	1名
8月20日	ケアマネジメント研修会	ケアマネの研修	II～IV	1名
10月5日	施設給食担当職員研修	衛生管理等	I～IV	1名
10月20～22日他8日	主任介護支援専門員研修	専門員の研修	II～IV	1名
12月7、8日	課題別研修 I	グループワーク	II～IV	1名
12月9日	福祉実践2021 in あきた	実践発表他	I～IV	2名
1月17日	介護支援専門員等実践力向上研修	介護スキルアップ	III～IV	1名
3月11日	居宅介護支援専門員研修会	講習会	II～IV	1名

意識改革研修 (コンプライアンス)

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
4月13日	アンガーマネジメント研修	怒りのコントロール	III～IV	4名
1月21～22日	養護者による高齢者虐待対応現任者研修	虐待防止	II～IV	1名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月11日	介護従事者講座	介護記録の理解と実践	II～IV	1名
6月15日	コミュニケーション向上研修	コミュニケーションについて	II～IV	1名
6月16日	怒りのマネジメント研修	怒りのコントロール	II～IV	1名
9月30日、1月27日	エルダー・メンター養成研修	仕事の不安解消	III～IV	2名
10月29日	自立支援型地域ケア会議実践研修(専門職)	地域福祉について	I～IV	1名
11月18日	高次機能障害と関連障害支援普及事業支援研修会	障がいの理解	I～IV	1名
11月26日	調理技術研修	調理方法のコツを学ぶ	I～IV	1名
12月17日	自立支援型地域ケア会議実践研修(事業所)	地域福祉について	I～IV	1名
12月24日	認知症ケアシリーズ(講演会)	認知症に配慮した支援	I～IV	1名
1月22日	介護認定審査会委員研修会及び主治医研修	地域医療の在り方	I～IV	1名
1月28日	秋田県老人福祉施設長研修会 I	講習及び意見交換	IV	1名
2月3日	介護予防ケアマネジメント・介護支援専門員研修	介護予防と介護支援専門員の役割	I～II	1名
3月26日	地域における多職種連携の認知症支援推進研修会	認知症と地域福祉	I～III	1名

高清水園

【事業所内研修】

〈階層別研修〉

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
4月5日	新任・転任職員研修	・基本理念・運営方針他	I～III	13名
4月20日	新任職員研修	・HQS推進システムとは	I	1名
8月3日～4日	中途採用契約新任職員研修	・基本理念・運営方針他	I	5名
10月5日	中途採用契約新任職員研修	・基本理念・運営方針他	I	1名
11月4日	中途採用契約新任職員研修	・基本理念・運営方針他	I	1名
3月1日	中途採用契約新任職員研修	・基本理念・運営方針他	I	1名

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
7月15日	誤薬防止研修	誤薬の危険性について他	I～III	5名
8月5日	個別支援計画作成研修会	意思決定支援について他	I～III	12名
8月31日	介護技術研修	利用者・介助者に安心・快適な介護技術他	I～II	6名
10月26日	食事介助研修	生活場面で見える介護技術・食事介助他	I～III	15名
11月8日	救急救命講習	的確な対応が出来る、知識、技術の習得	I～IV	14名
12月23日	てんかん発作と怪我による応急処置	DVD視聴・発作について	I～IV	9名
2月22日	口腔ケア研修	DVD視聴・口腔ケア他	I～III	6名

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
5月19日～25日	アンガーマネジメント伝達研修	怒りの感情について学ぼう他	I～IV	77名
12月20日	障がい者虐待防止研修	ロールプレイ・振り返り	I～III	18名
1月11、14、20、21、25日	障害者虐待防止・権利擁護伝達研修	障害者虐待防止法の概要 と現状他	I～IV	88名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
5月20日	令和3年度OJT指導者研修	OJTってなに？	III	1名
6月29日	不審者対応研修	対応訓練、護身術他	I～III	15名
7月13日	栄養ケアマネジメント	栄養ケアマネジメントとは	I～IV	7名

【事業所外研修】

〈階層別研修〉

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
12月7日～8日	課題別研修1 講義・演習	リーダーシップとコミュニケーション他	I	2名

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月24日～25日	研修担当職員研修	OJT活性化施策の推進他	Ⅳ	1名
6月30日他3日	秋田県相談支援従事者現任研修	e-ラーニングによる講義他	Ⅱ	1名
7月28日～29日	秋田県強度行動障害支援者養成研修	強度行動障害とは 他	Ⅰ～Ⅳ	4名
8月16日～17日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（チームリーダー）	キャリアデザインとセルフマネジメント他	Ⅲ	1名
8月23日～24日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（中堅職員）	キャリアデザインと自己管理他	Ⅱ	1名
8月30日～31日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（チームリーダー）	キャリアデザインとセルフマネジメント他	Ⅱ	1名
9月1日～2日	県強度行動障害支援者養成研修（実践）	支援を組み立てるための基本他	Ⅰ～Ⅵ	2名
9月8日	サビ管・児発管更新研修	障害者・児童福祉施策の最新の動向他	Ⅳ	1名
9月10日	サビ管理・児童発達支援管理責任者）更新研修	障害者・児童福祉施策の最新の動向他	Ⅳ	1名
9月15日～16日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者）	キャリアデザインとセルフマネジメント他	Ⅰ	1名
9月21日～22日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（管理職員）	キャリアデザインとセルフマネジメント他	Ⅳ	1名
10月5日	施設給食担当職員研修	病態に合わせた食事療法他	Ⅰ	1名
10月12日～13日	サービス管理責任者等研修【基礎研修】	サービス提供の基本的な考え方 他	Ⅲ	1名
10月21日～22日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（中堅職員）	キャリアデザインと自己管理他	Ⅱ	1名
11月16日～17日	精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修会	精神障害者を取り巻く現状他	Ⅱ～Ⅲ	2名
11月25日～26日	サビ管・児発管責任者研修（実践研修）	障害者福祉施策及び児童福祉施策の動向	Ⅱ	2名
1月20日	児童発達支援責任者による情報交換会	学校休業時における活動に紹介他	Ⅱ	1名
3月10日	認知症介護基礎研修	認知症の人の理解と対応の基本他	Ⅲ	1名

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
10月15日～31日	日中活動支援部会全国大会秋田大会	これからの障害福祉サービスの方向性	Ⅲ	1名
10月28日～11月27日	第54回全国社会福祉事業団大会	実践論文発表他	Ⅱ	1名
11月15日～11月28日	障害者支援施設部会全国大会北海道大会	基調講演「なぜ人と人は支え合うのか？」他	Ⅱ	1名
11月25日	相談支援・職業支援セミナー	行政説明「今後の相談支援の方向性について」他	Ⅱ	1名
12月9日	令和3年度福祉実践2021 in あきた	実践発表他	Ⅱ	2名
2月8日	秋田県知的障害者福祉協会専門研修会	介護・支援事故や過度なクレーム等への対応について他	Ⅲ	2名
2月10日	北海道・東北ブロック社会福祉事業団連絡協議会職員研修Ⅰ	ものづくりに対する情熱と人材育成の中での意識改革他	Ⅱ	1名
2月24日	秋田県障害福祉団体協議会障害福祉関係団体合同研修会	障害者の学びの環境と共生社会を考える他	Ⅰ～Ⅳ	1名

秋田県心身障害者コロニー

【事業所内研修】

〈階層別研修〉

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
4月8日	新任職員研修	施設概要、就業規則他	Ⅰ	17名
11月15日	新任職員研修	施設概要、就業規則他	Ⅰ	20名

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
7月8日	評価アセスメント研修	評価キットを用いたアセスメント	I～III	13名
11月12日	成年後見制度理解研修	制度の理念と成り立ち	I～IV	21名

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月10日・15日	障害者差別解消法研修	障害者差別解消法の基礎	III～IV	12名
9月24日・27日・28日	権利擁護研修	支援現場のロールプレイ、意見交換	I～IV	114名
10月12日	権利擁護研修	保護者会会長講演	I～IV	213名
10月19日	権利擁護研修	利用者の人権擁護他	I～IV	24名
1月13日	虐待防止・権利擁護研修	伝達研修	I～IV	213名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
4月23日・26日	感染症対策研修	ガウンテクニック他	III～IV	39名
5月18日～31日	アンダーマネジメント研修	伝達研修	I～IV	128名
6月28日	メンタルヘルス研修	セルフケア、ラインケア	III～IV	11名
11月16日	感染症対策研修	ガウンテクニック他	I～IV	20名

【事業所外研修】

〈階層別研修〉

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
7月20日～21日	キャリアパス（初任者）	対人関係マナー	I	2名
8月16日～17日	キャリアパス（リーダー）	職員指導・育成の展開	III	4名
8月23日～24日	キャリアパス（中堅）	問題解決の要因分析	II	1名
8月30日～31日	キャリアパス（リーダー）	職員指導・育成の展開	III	4名
9月21日～22日	キャリアパス（管理職）	環境分析の手法	IV	5名
10月21日～22日	キャリアパス（中堅）	問題解決の要因分析	II	1名
10月29日	OJTリーダー研修	OJTのスキル	III～IV	1名
11月16日～17日	キャリアパス（リーダー）	職員指導・育成の展開	III	1名
11月18日～19日	キャリアパス（管理職）	環境分析の手法	IV	5名
11月29日～30日	キャリアパス（初任者）	対人関係マナー	I	3名
12月1日～2日	キャリアパス（中堅）	問題解決の要因分析	II	1名
12月7日～8日	課題別研修 I	コーチング技法	III～IV	4名
3月15日～16日	キャリアパス（リーダー）	職員指導・育成の展開	III	4名

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
7月28日～29日	強行研（基礎）	強度行動障害の理解	I～IV	2名
8月17日～9月6日	サビ管（初任研）	資格取得・更新堅研修	I～IV	3名
9月1日～2日	サビ管（実践）	資格取得・更新堅研修	II～IV	1名
9月8日・10日	サビ管（更新）	資格取得・更新堅研修	II～IV	3名
10月12日～13日	サビ管（基礎）	資格取得・更新堅研修	I～IV	3名
11月25日～26日	サビ管（実践）	資格取得・更新堅研修	II～IV	1名

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
9月17日	メンタルヘルス研修	ストレスへの対処	I～IV	1名
12月9日	障害者虐待防止・権利擁護研修	障害者虐待防止法他	IV	3名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
4月27日	ビジネスマナー向上研修	ビジネスマナーの基本	I	1名
6月15日	コミュニケーション向上研修	報・連・相について	I	1名
6月16日	怒りのマネジメント研修	怒りのコントロール	I～IV	1名
6月22日	調理技術研修	嚥下調整食の基礎	I～II	2名
6月24日～25日	研修担当研修	職場研修の重要性	III～IV	1名
7月27日～29日	就業支援研修	基礎的知識・技術	I～IV	1名
8月18日	クレーム対応研修	基本姿勢・基本スキル	I～IV	1名
9月8日	工賃向上セミナー	工賃向上に向けた取組	I～IV	1名
9月28日	ロジカルシンキング研修	情報の整理・分析手法	I～IV	1名
10月4日	説明力強化研修	説明スキルについて	I～II	1名
10月11日	障害者理解促進研修会	障害の理解について	II～III	1名
11月12日	看護職員研修	感染症対策について	I～II	1名
1月22日～23日	障害者のためのレクリエーション支援者養成研修会	プログラム作りの基礎	I～IV	1名
2月6日	床ずれセミナー	褥瘡ケアについて	I～II	3名

由利本荘地域生活支援センター

【事業所内研修】

〈階層別研修〉

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
4月6日他6回	新任職員研修	施設概要、就業規則他	I	12名
5月18日	防災研修	消防計画他	I～III	9名
9月2日	介護技術研修	入浴時の介護技術に関して	I	1名
11月25日他2回	福祉用具体験研修	車椅子の操作方法他	I～II	22名
3月3日	個別支援計画作成研修	個別支援計画、意思決定支援	I～II	11名

〈特別研修〉

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
5月26日他1日	アンガーマネジメント伝達研修	怒りと上手に付き合う他	I～III	64名
6月23日他1回	制度理解研修	意思決定支援について	I～III	34名
9月8日他1回	障害者虐待防止研修	事例検討	I～III	29名
12月13日他1回	虐待防止事例研修	ワールドカフェ方式による事例検討	I～III	29名
12月27日他3回	虐待防止権利擁護伝達研修	障がい者虐待の定義他	I～IV	68名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月30日	自閉症について～強度行動障害	自閉症や強度行動障害の理解	I～III	13名
7月14日他1回	認知症について	認知症サポーター講座	I～IV	21名
10月6日他1回	感染症予防研修	感染症予防の基礎知識	I～II	25名
1月6日	障がい特性の理解	障がい特性の理解とケース紹介	I～IV	11名

【事業所外研修】

〈階層別研修〉

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
10月21～22日	キャリアパス・中堅職員編	キャリアデザインと自己管理	II	1名
12月7～8日	課題別研修 I	指導的職員に求められる技術	II	1名

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
7月28～29日	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	強度行動障害について	II～III	1名
7月31日・8月11日	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	強度行動障害について	II～III	2名
8月20日	全国グループホーム等研修会	高齢知的障害者の支援他	I～III	8名
9月1～2日	強度行動障害支援者養成研修(実践)	強度行動障害について	II～III	1名
9月6日	秋田県ケアラー支援普及・啓発セミナー	共にケアする社会を目指して他	I II	1名
9月8日・9月10日	サビ管・児発管（更新）研修	サビ管・児発管について	II～III	2名
9月30～10月1日	知的協専門研修	計画作成と支援のあり方	I II	1名
10月6～7日	知的障害関係施設長等会議	行政説明・協会活動報告他	IV	1名
10月8日	秋田県知的協職員研修会	コロナウイルス感染症クラスター対応他	I～III	7名
10月12～13日	サビ管・児発管（基礎）研修	サビ管・児発管について	I～III	1名
10月28日	産業保健セミナー	統合失調症、双極性障害を有する労働者への配慮と支援	I～IV	3名
10月29日	日中活動支援部会全国大会	社会参加と支援の質について他	I～IV	3名
11月18日	高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援事業	高次脳機能障害を理解する他	I～III	1名
11月20日他1回	強度行動障害支援者養成研修(実践)	強度行動障害について	II～III	1名

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
11月22日	全国社会福祉事業団大会	最新の動向と社会福祉法人に求められるもの	I～III	4名
12月6日他1回	相談支援・就業支援セミナー	相談支援の方向性について他	I～III	3名
1月20日	障害児・者相談支援事業コーディネーター研修	医療的ケア児支援法と障がい児・者相談支援他	II～III	3名
2月8日	医療的ケア児支援者スキルアップセミナー	小児在宅療育を支える取組	I～III	2名
2月8日	県知的障害者福祉協会専門研修会	介護・支援事故や過度なクレーム等への対応他	I～III	5名
2月15日	ひきこもり相談支援者研修会	ひきこもりの理解と現状について	I～III	2名

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月17日	理解に支援が必要な方への性教育	理解に支援が必要な方への性教育	II～III	1名
12月9日他1回	障害者虐待防止・権利擁護研修	障害者虐待防止・権利擁護について	I～IV	2名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
4月27日	ビジネスマナー向上研修	基本の心構え他	I～II	1名
12月4日他	ペアレントトレーニングリーダー養成講座	ペアレントトレーニングの理解	I～IV	2名
12月17日	知的障害のある犯罪行為者への支援	刑事司法の基本他	II	1名
2月24日	障害福祉関係団体合同研修会	障がい者の学びの環境と共生社会他	II～IV	5名

阿桜園

【事業所内研修】

〈階層別研修〉

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
4月6日	転任・新任職員研修	阿桜園の概要他	I～III	9名
7月7日	新任職員研修	阿桜園の概要他	I	3名
5月26日	OJT指導者研修	OJTの基本理念、役割	II～III	1名
5月31日	ハイクオリティサービス推進システム研修	ハイクオリティサービス推進システムについて	I～III	9名

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
7月20日	感染症予防対策	ガウンテクニック	I～IV	11名
8月23日～27日	自閉症について	障害特性の理解とケース紹介	I～IV	110名
12月9日、13日～20日	アセスメントについて	アセスメントの概要と実際	I～IV	110名
12月6日	感染症予防対策研修	標準予防策について	I～IV	14名

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月28日～7月2日	虐待防止（アンガーマネジメント）研修	怒りのセルフコントロール等	I～IV	110名
10月18日～10月22日	介護体験研修	疑似体験セット着用等	I～IV	37名
1月17日～25日	虐待防止・権利擁護・メンタルヘルス職場改善研修	伝達、ロールプレイ、職場改善研修	I～IV	116名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
5月27日	普通救命講習	AEDの使用方法等	I～III	9名
6月25日	日誌・ケース記録研修	文書記録の手引きの解説	I～III	12名
9月21日	不審者対応研修	不審者への対応	I～III	13名

【事業所外研修】

〈階層別研修〉

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月1日	介護職員等によるたん吸引等研修（指導者養成）	指導者研修	III～IV	1名
6月2日～3日	介護職員等によるたん吸引等研修	特定の者対象の痰吸引	II～III	1名
6月26日、7月3日	秋田県医療的ケア児等支援者養成研修	医療的ケア児の支援について	II～IV	3名
7月14日	秋田県講師養成研修	ファシリテーションの基本的理解等	III	1名
7月28日～29日	強度行動障害支援者養成研修・基礎研修	強度行動障害支援の基礎	I～IV	3名
8月30日～31日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（チームリーダー）	チームリーダーについて	III	1名
9月21日～22日	福祉職員 キャリアパス対応生涯研修課程（管理職員）	管理職員の職務について	IV	1名
10月12日～13日	サービス管理・児童発達管理責任者研修	サビ管・児発管の業務について	III～IV	1名
1月20日	障害児・者相談支援事業全国連絡協議会コーディネーター研修会	医療的ケア児の支援	I～IV	5名
2月21日～22日	福祉職員 キャリアパス対応生涯研修課程（中堅職員）	中堅職員の職務について	II	1名

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月15日	コミュニケーション向上研修	新人、若手に求められる3つのスキル	I	1名
6月22日	調理技術研修	嚥下調整食について	I～III	1名
8月20日	第32回 全国グループホーム等研修会	支援の先進地を知る	I～IV	5名
7月17日他5日	ペアレントトレーニング実践研修	ペアレントトレーニングの実践	I～IV	6名
9月30日～10月1日	東北地区知的障害者福祉協会専門研修	計画作成と支援の在り方	I～IV	1名
10月18日	日中活動支援部会全国大会秋田大会	支援の先進地を知る	I～IV	4名
11月18日	第9回障害者支援施設部会全国大会北海道大会	支援の先進地を知る	I～IV	4名
12月13日	ひきこもり研修	ひきこもりの対応について	I～IV	3名
12月17日	湯沢雄勝地域包括支援ネットワーク協議会市民公開研修会	支援の先駆的な取り組みについて学ぶ	I～IV	6名
12月18日	東北ブロック重症心身障害者	支援の先駆的な取り組みについて学ぶ	I～IV	2名
2月8日	青森県医療的ケア児支援者スキルアップセミナー	小児在宅療育を支える秋田医療療育センターの機能	I～IV	4名
2月24日	秋田県障害福祉団体協議会障害福祉関係団体合同研修会	新型コロナウイルス感染症への対応等について	I～II	5名

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月16日	怒りのマネジメント研修	怒りについて	Ⅳ	1名
8月18日	クレーム対応研修実施	クレーム対応について	Ⅰ～Ⅳ	1名
10月13日	ハラスメント防止対策に必要な職場環境づくり	ハラスメント防止対策に必要な相談対応	Ⅱ～Ⅳ	1名
10月25日	ストレスチェックを活用した職場環境改善	職場環境改善を小集団で行う方法	Ⅰ～Ⅳ	1名
11月10日	職場のメンタルヘルス（カウンセリング研修）	傾聴技法を学ぶ	Ⅰ～Ⅳ	1名
12月10日	秋田県知的障害者福祉協会専門研修会	介護・支援事故や過度なクレーム等への対応他	Ⅰ～Ⅳ	1名
1月19日	転倒による労災災害防止等説明会	転倒による労働災害防止等について	Ⅰ～Ⅳ	1名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
8月18日	クレーム対応研修実施	クレーム対応について	Ⅰ～Ⅳ	1名
10月8日	秋田県知的障害者福祉協会・職員研修会	新型コロナウイルス感染症対応について	Ⅰ～Ⅳ	1名

やまばと園

【事業所内研修】

〈階層別研修〉

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
4月、12月、1月	転任新任職員研修	施設概要、事業説明と理解	Ⅰ～Ⅳ	10名
6月17日	応急手当講習会	普通救命講習	Ⅰ～Ⅲ	11名
7月20日	個別支援計画作成	個別支援計画作成の理解	Ⅰ～Ⅲ	10名
11月9日	触法障害者の地域生活支援	触法障害者の理解	Ⅰ～Ⅳ	47名

〈特別研修〉

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月1日	虐待防止・権利擁護	権利擁護虐待防止伝達研修	Ⅰ～Ⅳ	57名
1月18日	虐待防止・権利擁護	権利擁護虐待防止伝達研修	Ⅰ～Ⅳ	59名
5月～2月	ロールプレイ研修	不適切支援の意見交換	Ⅰ～Ⅳ	156名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
5月20日	接遇・マナーについて	接遇マナーやクレーム対応	Ⅰ～Ⅳ	14名
11月4日	障害の理解・支援について	支援における場面切替え	Ⅰ～Ⅲ	18名
11月～1月	介護技術研修	移乗、食事、入浴支援	Ⅰ～Ⅲ	32名
11月29日	感染症予防研修	防護服、ガウン着脱等	Ⅰ～Ⅳ	22名

【事業所外研修】

〈階層別研修〉

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月24日～25日	研修担当職員研修	職場内研修実施技術の修得	Ⅱ～Ⅲ	1名
9月15日～16日	キャリアパス対応生涯研修（初任者）	新任職員の基本の修得	Ⅰ	1名
8月23日～24日	キャリアパス対応生涯研修（中堅職員）	中堅職員の役割の修得	Ⅱ	1名
8月16日～17日	キャリアパス対応生涯研修（チームリーダー）	スキルと専門知識の習得	Ⅲ	1名
11月18日～19日	キャリアパス対応生涯研修（管理職員）	役割理解と専門知識を学ぶ	Ⅳ	1名

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月～11月	相談支援従事者現任研修	資質向上及び更新研修	Ⅱ	1名
8月、10月	サービス管理責任者【基礎研修】	従事者の資質向上	Ⅱ	1名
9月8日	サービス管理責任者【更新研修】	従事者の資質向上	Ⅱ～Ⅲ	1名
11月25日～26日	サービス管理責任者【実践研修】	従事者の養成、資質向上	Ⅱ～Ⅲ	1名
1月8日～9日	ポーター初級研修セミナー	早期教育プログラムの理解	Ⅱ～Ⅲ	1名
7月28日～29日	秋田県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	支援者養成（人材育成）	Ⅱ～Ⅳ	2名
9月1日～2日	秋田県強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	支援者養成（人材育成）	Ⅱ～Ⅳ	1名
5月、6月	発達障がい支援者研修会	発達障がいの特性と理解	Ⅱ～Ⅲ	3名
12月7日～8日	課題別研修Ⅰ	指導的職員の資質の向上	Ⅱ～Ⅲ	1名
1月22日～23日	障害者のためのレクリエーション支援者養成研修会	理論と手法を学ぶ	Ⅱ～Ⅳ	1名
7月14日	秋田県講師養成研修	研修講師の育成	Ⅱ～Ⅳ	1名
8月20日	全国グループホーム等研修会	地域生活支援の講演	Ⅰ～Ⅳ	8名
4月23日	東北地区知的障害者福祉協会定時総会	活動計画、記念講演	Ⅱ～Ⅳ	1名
10月8日	秋田県知的障害者福祉協会職員研修会	感染症対策、取組について	Ⅱ～Ⅳ	1名
11月25日	日本知的障害者福祉協会支援施設部会全国大会	権利擁護、支援の質	Ⅱ～Ⅳ	1名
12月15日	福祉サービス苦情解決研修会（初級、上級編）	クレームの理解と対応	Ⅱ～Ⅳ	1名
2月8日	秋田県知的障害者福祉協会専門研修会	クレーム対応リスク調整	Ⅱ～Ⅳ	1名

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
12月9日	秋田県障害者虐待防止権利擁護研修	虐待対応、身体拘束	Ⅱ～Ⅳ	2名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
12月9日	福祉実践2021inあきた	福祉実践例紹介	Ⅱ～Ⅳ	2名
12月10日	支援者のための成年後見活用講座	概要、後見人事例紹介	Ⅱ～Ⅳ	2名

障害者支援センター御所野

【事業所内研修】

〈階層別研修〉

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
4月1日～7日	新任・転任職員研修	業務概要、医療・栄養について	I～III	4名

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
8月4日	障がい特性研修	障がい特性の理解とケース紹介多角的な捉え方	I～III	11名
11月14日	成年後見研修	成年後見制度について	I～IV	18名
11月14日	障がい特性研修	リフレーミングの視点でケースの紹介をする	I～III	11名

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
5月12日～7月13日	虐待防止研修	障害者虐待防止について	I～IV	24名
1月18日～2月22日	虐待防止・権利擁護研修（伝達研修）	人権について虐待防止について	I～IV	24名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
5月12日～6月28日	アンガーマネジメント研修	怒りの原因とコントロール	I～III	21名

【事業所外研修】

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月12日他6日	秋田県栄養士生涯教育オンライン研修会		II	1名
7月28日～29日	秋田県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	強度行動障害について	II	2名
9月1日～2日	秋田県強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	強度行動障害支援について	II	1名
11月15日・16日	介護ロボット活用ミーティング	具体的導入事例について	III	2名
12月15日～28日	高次脳機能障害研修	高次脳機能障害について	I・II	5名

意識改革研修（コンプライアンス）

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
12月9日	障害者虐待防止・権利擁護研修	障害者虐待防止について権利擁護について	I～IV	1名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
6月9日	職場のメンタルヘルス	アサーティブコミュニケーションとは	II III	2名
6月11日	職場のメンタルヘルス	メンタルヘルスについてレジリエンスについて	II III	2名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
8月17日他	サービス管理責任者研修基礎研修	サービス管理責任者の業務個別支援計画について	Ⅱ	1名
9月8日	サービス管理責任者研修更新研修	サービス管理責任者の業務、虐待防止について	Ⅱ	1名
8月～12月	相談支援従事者初任者研修	相談技法・サービス等利用計画について	Ⅱ	1名

秋田県点字図書館

【事業所内研修】

〈特別研修〉

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
12月17日	接遇研修について	視覚障害者の理解と基本的誘導方法	I～IV	8名

【事業所外研修】

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
5月21日	音声版「選挙のお知らせ」製作研修	音声版「選挙のお知らせ」製作について	I～IV	2名
8月27日	2021年度 新任管理者研修会	視覚障害者情報提供事業の歩みと法制度について	I～IV	1名
9月1日	点字図書館等連絡協議会ボランティア研修会	視覚障害者の漢字学習を理解するために	I～IV	9名
10月13～14日	第46回 全国視覚障害者情報提供施設大会（高知大会）	読書バリアフリーの流れを高知から	I～IV	2名
12月2日～3日	2021年度 サピエ研修会	公共図書館の障害者サービスを進展させるために他	I～IV	9名

秋田県聴覚障害者支援センター

【事業所内研修】

〈特別研修〉

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
8月25日	アンガーマネジメント研修	感情コントロールと対人能力の向上	I～IV	4名

【事業所外研修】

〈特別研修〉

能力開発研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
7月15日	令和3年度 意思疎通支援担当者研修会	意思疎通支援等の事業担当職員の資質向上	I～IV	2名
11月18日～19日	盲ろう者向け通訳・介助員養成担当者等研修会	今後の派遣事業の動向や調整業務のあり方	I～IV	1名
12月17日	令和3年度実践発表会	施設における取組紹介	I～IV	2名
2月10日	北海道・東北ブロック社会福祉事業団連絡協議会職員研修	テーマ『職員の意識改革』	I～IV	1名
3月19日	要約筆記事業研修会	要約筆記の特性を理解する	I～IV	1名

一般研修

開催月日	研修名	研修内容	対象	参加人員
2月10日	秋田県社会福祉会館防災研修	火災を防ぐためのポイント	I～IV	1名

8. 苦情解決処理状況

(1) 施設別件数

区 分	(職員の サービスの 接遇等)	(サー ビスの 質・量)	説 明・ 情 報 提 供	施 設・ 設 備	制 度・ 施 策	金 銭	被 害・ 損 害	権 利 侵 害	そ の 他	計	(継続中の 件数) 苦情 解決 結果
北部老人福祉総合エリア										0	0
中央地区老人福祉総合エリア	3	2	1		2				1	9	0
南部老人福祉総合エリア				1						1	0
高清水園							1			1	0
心身障害者コロニー		1	3							4	0
由利本荘地域生活支援センター	2	1								3	0
阿桜園			1							1	0
やまばと園										0	0
障害者支援センター御所野	3									3	0
点字図書館										0	0
聴覚障害者支援センター										0	0
計	8	4	5	1	2	0	1	0	1	22	0

(2) 苦情の主な内容

	内容の分類	件数	割合	苦情内容	解決策
利用施設	サービス内容 (サービスの質と量)	3	33%	トイレの汚れについて	巡回時の確認の徹底とそのような場面に遭ったら職員にお知らせいただくようお願いした。
障がい施設・老人施設	サービス内容 (職員の接遇等)	5	38%	利用者に関する情報提供や必要なサービスの調整について	関係機関へ謝罪の連絡を入れ、利用者に関する情報提供やサービスの調整を行い了解を得た。
	サービス内容 (サービスの質と量)	2	15%	利用中の見守りとその後の連絡が不十分であったことについて	見守りが不十分であったことを謝罪し、見守り強化と今後両親双方へ連絡することを説明し了解を得た。
	説明・情報提供	4	31%	利用者の個人情報の取扱いについて	業務上知り得た利用者等の情報は、在職中及び退職後も守秘義務があることを改めて職員に周知することで了解を得た。

(3) 過去5年間における苦情件数の推移

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件 数	23	19	14	29	22

(4) 苦情解決処理委員会の開催状況

施設名	開催日	出席者人数	会議内容
北部老人福祉総合エリア	令和4年3月10日	・第三者委員2名 ・職員2名	・令和3年度前期苦情解決処理状況 ・顧客満足度調査集計表 ・第三者委員による助言、意見交換 ・令和3年度の事業報告について
中央地区老人福祉総合エリア	令和4年3月1日	・第三者委員2名 ・職員2名	・苦情解決処理状況 ・顧客満足度調査報告 ・第三者委員からの助言
南部老人福祉総合エリア	令和4年3月17日	・第三者委員1名 ・職員9名	・苦情内容及び解決報告 ・第三者委員による助言、意見交換
高清水園	書面報告	・第三者委員2名	・高清水園の運営状況 ・令和3年度苦情解決報告 ・令和3年度「なんでも相談」実施状況
心身障害者コロニー	令和4年3月24日	・第三者委員2名 ・職員8名	・各部署より苦情処理状況報告 ・第三者委員より講評と助言
由利本荘地域生活支援センター	令和4年3月2日	・第三者委員2名 ・職員7名	・苦情解決処理状況報告 ・第三者委員からの助言
阿桜園	令和4年3月14日	・第三者委員3名 ・職員4名	・令和3年度の苦情状況について ・第三者委員との意見交換
やまばと園	毎月実施	・職員8～9名	・各寮の苦情、要望受付について ・苦情受付状況について ・利用者「何でも聞きます会」について
	・令和3年10月5日 ・令和4年3月18日 (3月はコロナ感染防止のため中止し、書面対応)	・第三者委員2名 ・親の会代表委員2名 ・職員8名	・令和3年度苦情解決処理状況報告 ・第三者委員、親の会代表委員より講評と助言
支援センター御所野	令和4年3月14日	・第三者委員2名 ・職員4名	・令和3年度苦情申出・解決状況の報告 ・第三者委員より講評と助言
点字図書館	令和4年3月10日郵送 令和4年3月15日・22日公表を受ける	・第三者委員2名へ 書面協議	・令和3年度苦情解決処理について ・令和3年度顧客満足度調査について ・第三者委員講評
聴覚障害者支援センター	書面審査	・第三者委員2名	・令和3年度苦情解決処理について ・第三者委員より講評と助言

9. 虐待防止（対策）委員会の開催状況

施設名	開催日等	出席者人数	会議内容
南部老人福祉総合エリア	虐待防止対策委員会 年6回実施 (身体拘束等適正化委員会含む。)	・職員8～11名	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度年間計画について 虐待防止及び身体拘束対応マニュアル一部改正について 虐待防止への具体的な取組について 標語の掲示について 虐待防止標語の啓発の取組について 虐待防止チェックリストの実施について 虐待防止研修(ロールプレイ、スピーチロック)について 虐待防止チェックリストからの検証 身体的拘束等の適正化のための対策 各施設の支援状況報告 令和4年度虐待防止標語について
	虐待防止委員会 令和3年10月6日 令和4年3月17日	<ul style="list-style-type: none"> 第三者委員2名 白寿園施設長 利用者代表 職員8～11名 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の取組について 委員会実施状況 虐待防止チェックリストについて 職員への研修状況について 職員アンケートについて 虐待防止標語について 意見交換
高清水園	虐待防止対策委員会 年12回実施	・職員10名前後	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止委員会の年間計画について 安全確保のための動作制限について チェックリストについて 各部署からの報告 虐待防止研修について
	虐待防止委員会 令和3年9月24日	<ul style="list-style-type: none"> 第三者委員2名 職員4名 	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止委員について 虐待防止チェックリスト集計結果 第三者委員講評
	虐待防止委員会 令和4年3月 (書面報告)	・第三者委員3名	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度虐待防止実施状況報告 令和3年度虐待防止推進年間計画 ※報告書類について承諾書を署名、捺印にて返送してもらう。
心身障害者コロニー	虐待防止対策委員会 年24回実施 身体拘束廃止部会 年2回実施	・職員10～14名	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止責任者会議報告 虐待防止マニュアル 虐待防止チェックリストの結果 虐待防止チェックリスト実施結果による今後の対応 動作制限カンファレンス 外部有識者からの助言等
	虐待防止委員会 令和3年4月16日	<ul style="list-style-type: none"> 第三者委員2名 地域有識者1名 利用者2名 保護者1名 職員14名 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度虐待防止委員会の体制 虐待防止責任者会議 動作制限カンファレンス 委員より講評・助言
	虐待防止委員会 令和4年11月18日	<ul style="list-style-type: none"> 第三者委員2名 地域有識者1名 利用者2名 保護者1名 職員11名 	<ul style="list-style-type: none"> 動作制限に係る記録の未整備 第1回虐待防止チェックリスト結果報告 委員より講評・助言
	虐待防止委員会 令和4年3月24日	<ul style="list-style-type: none"> 第三者委員2名 地域有識者1名 利用者2名 保護者1名 職員11名 	<ul style="list-style-type: none"> 第2回虐待防止チェックリスト結果報告 虐待防止チェックリストに対する取組報告 委員より講評・助言

施設名			
由利本荘地域生活支援センター	虐待防止対策委員会 毎月実施	・職員4～7名	・虐待と思われる事項がないか確認 ・虐待防止チェックリストの実施 方法と検証結果周知 ・年間計画実施状況の確認と検証
	虐待防止委員会 令和3年10月20日 令和4年3月2日	・第三者委員2名 ・利用者2名 ・保護者1名 ・職員5名	・令和3年度、取組状況について (チェックリスト・虐待防止研修等) ・虐待防止委員より講評と助言
阿桜園	虐待防止対策委員会 毎月実施 (第3木曜日)	・職員11名	・虐待の疑いによる通報案件について ・利用者の動作制限について ・虐待防止チェックリスト結果について
	虐待防止委員会 令和3年9月30日	・第三者委員1名 ・利用者1名 ・保護者1名 ・職員8名	・阿桜園における虐待防止に向けた取組について ・「秋田県社会福祉事業団虐待防止チェック リスト」に基づく自己点検結果について ・意見交換
	虐待防止委員会 令和3年3月14日	・第三者委員1名 ・利用者1名 ・保護者1名 ・職員4名	・阿桜園における虐待事案について ・「第2回阿桜園虐待防止チェックリスト」 に基づく自己点検結果について ・保護者アンケート結果について ・虐待防止に向けた取組について ・意見交換
やまばと園	虐待防止対策委員会 毎月実施	・職員8～9名	・各寮の状況について ・令和3年度取組について ・虐待防止チェックリスト集計結果について ・虐待に係る利用者への聞き取りについて ・虐待を疑われるケース(不適切な支援)に ついて検討、防止策
	虐待防止委員会 令和3年10月5日 令和4年3月18日 (3月はコロナ感染防止 のため書面对応)	・第三者委員2名 ・親の会代表委 員2名 ・利用者代表1名 ・職員8名	・令和3年度取組の進捗状況について ・虐待を疑われるケース(不適切な 支援)について ・質疑応答・意見交換
支援センター御所野	虐待防止対策委員会 年4回実施	・職員4名	・今年度の取組について ・チェックリストについて ・研修について ・満足度調査について ・第二回チェックリストについて
	虐待防止委員会 令和3年9月16日 令和4年3月14日	・第三者委員2名 ・利用者1名 ・身元引受人1名 ・職員4名	・チェックリスト等の取組について ・職員接遇について ・質疑応答・意見交換

10. ハイクオリティサービス推進システム

項目	内容
マネジメントレビュー	マネジメントレビューは、理事長からの指示に基づき各施設長がサービス改善に取り組むもので、今年度は下記の3点について実施した。
①虐待防止対策の更なる取組の強化について 各施設の虐待防止対策委員会での特徴ある取組が確認できたものの、身体拘束に係る記録の未実施案件の発生により、2施設が身体拘束廃止未実施減算の対象となった。チームで意思疎通を取りながら対処し、責任者だけでなく、現場の支援員との共通の認識とし、取り組む必要がある。 ②コロナ禍での事業実施について 施設内で感染が発生しないよう十分な感染症対策を講じて、各施設で調理訓練やレクリエーション、地元の農家とのコラボレーションなど、工夫を凝らして実施した。 ③利用者一人ひとりに応じたきめ細かな対応について 各施設が支援計画シート等の整備を進めるとともに、研修や会議のツールとしてオンラインや動画を活用し、情報共有を図りきめ細かい対応をした。	
自己評価	事業団自己評価基準に基づき、全職員が毎年一回実施し、その結果からサービス改善に向け取り組んだ。
【高清水園】 広く利用者の意見を汲み取るために、利用者が相談や意見を述べる場の周知方法や各棟ごとの実施の検討や自治会代表者と職員との協議の場を設けるなど利用者一人ひとりに応じたきめ細やかな対応ができるよう努めた。 【阿桜園】 虐待防止に対する研修について、各職員が持ち回りで講師になり研修を進めた。また、ロールプレイを取り入れた研修を全職員に実施した。今後も工夫した虐待防止に向けた取組を進める。	
内部監査	ハイクオリティサービス推進システムに定められた規格類やマニュアルが適切に運用されているかを毎年一回監査し、書類及びヒアリングによる確認を実施した。
○軽微な指摘 2件 ・利用者の預り金の出納帳記載漏れ ・特定施設サービス計画実践マニュアルの未整備 ○観察事項 6件 ・動作制限時の連絡体制の周知不足 ・ケース検討内容の記録不足 ・利用者の現金受領後の取扱いの未整備 など	
ヒヤリ・ハット報告	総計671件（令和2年度総計：741件）
	・誤薬に関して、服薬支援チェックによる服薬支援の検証や精神科薬の服薬支援、誤薬の危険性についての研修を行い、職員の意識向上を図った。 ・ヒヤリ・ハット件数については前年度よりも減少したものの、運用面を見直し作業の効率化を検討中である。

11. 地域密着型サービス外部評価事業

「認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）」は、事業所が提供するサービスの質の向上とサービスを利用する側が事業所を選択する際の情報提供を目的とし、令和3年度から年1回の外部評価の受審か運営推進会議を活用した評価を選択し実施することが義務付けられている。

秋田県社会福祉事業団は、秋田県から外部評価機関としての指定を受け、平成17年から外部評価業務を実施しており、調査員は医療・保健・福祉の実務経験者等31名で構成され、令和3年度は42事業所の評価を実施した。

審査委員会

開催日	内容
令和3年6月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症流行状況を鑑み、今年度は書面開催とした。 ・令和2年度地域密着型サービス外部評価事業についての説明 ・「事業所アンケート」集計結果報告 ・「家族アンケート」集計結果報告

